

平成22年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

〔平成22年度当初予算関係・予算関係以外〕

文化観光局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額

「前年度」の欄は今年度の当初予算額

「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成22年2月定例会 議案説明資料 目次

文化観光局

[予算関係]

(一般会計)

議案番号	件名	課名	頁
議案第1号	平成22年度 鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表) 文化政策課 交流推進課 観光政策課 国際観光推進課	1 2 28 44 85
	2 歳入歳出事項別明細書		90
	3 節の明細		92
	4 継続費に関する調書	文化政策課	94
	5 債務負担行為に関する調書	文化政策課 交流推進課 観光政策課 国際観光推進課	95

[予算関係以外]

議案番号	件名	課名	頁
議案第44号	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について	交流推進課	96
議案第57号	工事請負契約(とりぎん文化会館舞台機構設備改修整備業務)の締結について	文化政策課	97

議案説明資料総括表

文化観光局（単位：千円）

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				説明
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化政策課	1,319,325	1,188,655	130,670			62,842	1,256,483	
交流推進課	270,099	248,524	21,575			35,429	234,670	
観光政策課	627,048	540,263	86,785	3,146		82,984	540,918	
国際観光推進課	189,149	171,468	17,681			12	189,137	
合計	2,405,621	2,148,910	256,711	3,146		181,267	2,221,208	

～将来ビジョンの実現に向けた取組～

〔ひらく〕 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく

○「ようこそ、ようこそ鳥取県」の実現

- ・山陰海岸ジオパークネットワーク加盟推進事業
- ・「まんが王国とっとり」PR事業
- ・「2012国際マンガサミット in 鳥取」誘致推進事業
- ・上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加事業
- ・県民みんなで観光セールス！ようこそとっとり運動推進事業
- ・「温泉王国とっとり」緊急対策事業
- ・速くなる！近くなる！鳥取自動車道開通観光PR強化事業
- ・ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業
- ・山陰文化観光圏整備事業
- ・グリーンツーリズム普及促進事業
- ・世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客受入向上推進事業）
- ・世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客誘致推進事業）
- ・国境を越えた広域観光推進事業（韓国江原道との連携事業）
- ・（社）鳥取県観光連盟運営費
- ・トットリノススメ・民芸魅力発信事業
- ・大山パークウェイ構想 日本旅行作家協会総会誘致事業
- ・湯ったりだいせん発信事業

○活気あふれる「海外との交流」

- ・鳥取県・江原道・沿海地方による青少年交流事業
- ・ロシア沿海地方交流推進事業
- ・米国バーモント州交流促進事業

〔楽しむ〕 いきいきと楽しみながら充実した生活を送る

○地域の「創造性」を高める芸術文化の振興

- ・アーティストリゾート創造事業（劇団付き劇場による地域創造事業）
- ・BeSeTo演劇祭（鳥取公演）開催支援事業
- ・アーティストリゾート創造事業（アーティストインレジデンス事業）
- ・平城遷都1300年祭参加事業～”万葉有終の郷（さと）・鳥取情報発信”
- ・とっとり伝統芸能まつり開催事業（第46回郷土の民俗芸能大会）
- ・第8回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）開催事業

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート創造事業 (劇団付き劇場による地域創造事業)	7,000	7,500	△500				7,000	
トータルコスト	11,034千円 (前年度13,300千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	市町村・関係機関との連絡調整、運営委員会事務、補助金事務							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストリゾートの推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、IJUターンをされたアーティストや地域に根付いて高いレベルの芸術文化活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>鹿野・鳥の劇場が「劇団付き劇場」として、地域の活性化の拠点、文化・観光資源としてさらに定着するよう、劇団、地元住民、鳥取市及び鳥取県等の協働により運営・事業実施する。</p>								
拠 点	鹿野・鳥の劇場 (旧鹿野小学校・幼稚園)							
運営主体	鹿野・鳥の劇場運営委員会 (仮称) [実施体制・役割分担] ・NPO鳥の劇場 (委員会運営、事業全体の実施) ・いんしゅう鹿野まちづくり協議会 (地域体験事業等支援) ・鳥取市 (施設無償貸与、運営事業費一部支援) ・鳥取県 (運営事業費一部支援)							
実施内容	○鳥の演劇祭の実施 ⇒ 県民への鑑賞機会の提供 ⇒ 県内外への情報発信 >>> 特色ある観光資源 ⇒ 韓国等との交流 ○ワークショップ・出前講座 (劇団員、招聘アーティストによる出前講座・ワークショップ) ⇒ すそ野の拡大、教育分野への展開 ○周辺地域の体験事業 (三徳山・鹿野周辺の自然散策、紙すきなどの地域資源体験イベント) ⇒ 地域振興、観光への活用							
事業費	26,500千円 (概算) <財源内訳> 文化庁・民間助成制度 15,000千円 鳥取県 7,000 鳥取市 1,000 入場料、協賛収入 3,500							
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>・アーティストリゾートを推進するため、平成20、21年度は、鳥の演劇祭開催事業として、県・市・鳥の劇場及び地元関係者等により実行委員会を設置し、鳥の演劇祭を開催した。これにより県民への芸術の鑑賞機会を提供しているほか、劇場周辺の地域資源の体験事業を実施するなど文化を中心とした地域活性化の拠点として定着してきている。</p> <p>・22年度は、従来のイベント支援から「劇団付き劇場」として官民協働によるアーティストリゾートの拠点施設化を目指した取り組みとして実施する。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																							
(新) BeSeTo演劇祭 (鳥取公演) 開催支援事業	2,750	0	2,750				2,750																							
トータルコスト	3,557千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]																													
主な業務内容	補助金事務																													
工程表の政策目標 (指標)	アーティストリゾートの推進																													
事業内容の説明																														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中国・韓国・日本の3カ国による国際演劇祭 (BeSeTo演劇祭) は、1994年から3カ国の持ち回りで開催されている。2010年は日本で開催予定であり、東京をメイン会場としながら、一部の公演を鳥取でも開催する予定であり、その開催経費について支援を行うもの。</p> <p>※ BeSeTo演劇祭とは、</p> <p>1994年に韓国・中国・日本の代表的演出家達により立ち上げられた3カ国による国際演劇祭。韓国・日本・中国の順に3カ国で開催されており、第17回となる2010年は日本で開催される予定。</p> <p>なお、BeSeTo演劇祭は、北京 (Beijing)、ソウル (Seoul)、東京 (Tokyo) の頭文字をとって名づけられた。</p>																														
<p>2 主な事業内容</p> <p>BeSeTo演劇祭実行委員会 (鳥取公演) の開催経費のうち、海外・県外劇団の招聘のための交通費・滞在費相当額を対象として助成</p> <p>補助金 2,750千円</p>																														
<p>3 BeSeTo演劇祭の概要</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">【全体概要】</td> </tr> <tr> <td>期 間</td> <td>2010年6月中旬～7月中旬</td> </tr> <tr> <td>公演会場</td> <td>〔東京〕 新国立劇場、こまばアゴラ劇場、アトリエ春風舎 〔静岡〕 静岡県舞台芸術センター 〔鳥取〕 鹿野・鳥の劇場</td> </tr> <tr> <td>主 催</td> <td>第17回 BeSeTo演劇祭実行委員会</td> </tr> <tr> <td>出演団体</td> <td>〔日本〕 SCOT、青年団、鳥の劇場、公募若手劇団 〔中国・韓国〕 各数団体</td> </tr> <tr> <td>概算事業費</td> <td>110,000千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【鳥取公演概要】</td> </tr> <tr> <td>公 演 日</td> <td>2010年7月24日 (土)、25日 (日)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>鹿野・鳥の劇場</td> </tr> <tr> <td>上演団体</td> <td>NPO鳥の劇場、韓国の劇団1団体、公募若手劇団 (日本) 1団体 計3団体</td> </tr> <tr> <td>概算事業費</td> <td>8,260千円</td> </tr> </table>									【全体概要】		期 間	2010年6月中旬～7月中旬	公演会場	〔東京〕 新国立劇場、こまばアゴラ劇場、アトリエ春風舎 〔静岡〕 静岡県舞台芸術センター 〔鳥取〕 鹿野・鳥の劇場	主 催	第17回 BeSeTo演劇祭実行委員会	出演団体	〔日本〕 SCOT、青年団、鳥の劇場、公募若手劇団 〔中国・韓国〕 各数団体	概算事業費	110,000千円	【鳥取公演概要】		公 演 日	2010年7月24日 (土)、25日 (日)	会 場	鹿野・鳥の劇場	上演団体	NPO鳥の劇場、韓国の劇団1団体、公募若手劇団 (日本) 1団体 計3団体	概算事業費	8,260千円
【全体概要】																														
期 間	2010年6月中旬～7月中旬																													
公演会場	〔東京〕 新国立劇場、こまばアゴラ劇場、アトリエ春風舎 〔静岡〕 静岡県舞台芸術センター 〔鳥取〕 鹿野・鳥の劇場																													
主 催	第17回 BeSeTo演劇祭実行委員会																													
出演団体	〔日本〕 SCOT、青年団、鳥の劇場、公募若手劇団 〔中国・韓国〕 各数団体																													
概算事業費	110,000千円																													
【鳥取公演概要】																														
公 演 日	2010年7月24日 (土)、25日 (日)																													
会 場	鹿野・鳥の劇場																													
上演団体	NPO鳥の劇場、韓国の劇団1団体、公募若手劇団 (日本) 1団体 計3団体																													
概算事業費	8,260千円																													
<p>4 BeSeTo演劇祭招聘の経緯</p> <p>「鳥の劇場」主宰の中島氏が BeSeTo演劇祭日本実行委員会の委員に就任していることから、国際的に認知された BeSeTo演劇祭の一部として位置づけられた鳥取公演の招聘が可能となった。</p>																														

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)アーティストリゾート創造事業（アーティストインレジデンス事業）	2,900	0	2,900				2,900	
トータルコスト	4,514千円（前年度0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	関係市町村・団体等調整、実行委員会参画、補助金事務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストリゾートの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

岩美町では、旧岩美病院をアーティストの作品制作のアトリエとして、旧医師公舎をアーティストの滞在施設として整備し、アーティストインレジデンス（滞在型現地制作）ができる環境整備がなされたところ。

平成22年度には、県、町、地元住民との協働による実行委員会を設置し、自然をテーマとした展示会をアーティストインレジデンスにより開催することとしており、その開催経費の一部を支援する。

2 主な事業内容

事業内容	○レジデンス（アーティストが岩美町に滞在し、作品創作現場を公開） ○展示会（テーマは山陰海岸ジオパークなどにつながるような自然を想定） ○ワークショップ（レジデンス期間中に学校と連携して実施）		
実施主体	アーティストインレジデンス実行委員会（仮称） 〔体制〕 アーティスト（作品創作・交流会、ワークショップ実施等） 地元住民（創作活動支援ボランティア等） 岩美町（施設無償貸与、事業費支援、事務局運営） 鳥取県（事業費支援）		
概算事業費	3,000千円 〔財源内訳〕 鳥取県 2,900千円（レジデンス・展示会の開催経費） 岩美町 100千円（ワークショップ開催経費）		

<参考>

岩美町は旧岩美病院及び旧医師公舎の改修を実施。

H19 旧岩美病院電気設備改修 400千円

H21 旧医師公舎改修 2,500千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年3月には、文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業を活用して、岩美町に国内外からアーティストを招聘して、国際現代美術展を開催することとしている。

アーティストが定期的に岩美町に滞在し創作活動を行うなど、アーティストインレジデンスを数年継続することで、将来的に岩美町へのアーティストの移住・定住につながる取組となることを期待。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加事業	17,822	0	17,822				17,822	
トータルコスト	22,663千円（前年度0千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	イベントステージ運営、開催に関する事務、博覧会事務局との連絡調整、派遣団体の渡航手続き・随行・連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値あるもの」の気づくための働きかけ（鳥取の優れた芸術文化、文化資源の情報発信）							
事業内容の説明								
1 事業の概要 平成22年に中国上海で開催される上海国際博覧会において、日本政府が出展する日本館のイベントステージに参加し、「まんが王国とっとり」をはじめとした鳥取県の魅力を広くアピールするため、文化・観光・産業等の様々な面で鳥取の情報発信を行う。								
2 平成22年度事業								
(1) 期間 平成22年8月19日（木）～22日（日） ※ただし、19日（木）は映像放映、パネル展示のみ								
(2) 場所 上海万博会場内 日本館イベントステージ								
(3) 集客目標 30,000人（1日あたり約10,000人）								
(4) 内容								
①まんが王国鳥取のPR（パネル展示、鬼太郎・コナンイラスト大会等）								
②ステージイベント（地域伝統芸能、フレアカクテルショー、鳥取県ゆかりの歌等披露）								
③ゲーム型イベント（グラウンドゴルフ大会、トリピーや鬼太郎との交流ゲーム等）								
④展示コーナー（山陰海岸ジオパークなどの観光、食のみやこ鳥取、温泉王国とっとり、産業、鳥取県の中国交流PR等）								
⑤中国交流地域（河北省、吉林省）との合同ステージ								
⑥映像放映（鳥取県の観光情報等）								
(5) 事業費の内訳								
①旅行手配等業務委託 5,471千円								
②会場設営・運営等業務委託 12,351千円								
3 関係部局と連携した取り組み								
○より効果的で広がりのある事業とするため、以下のとおり関係部局と連携して実施。								
区分	文化観光局（局内連携実施）			商工労働部				
	（文化政策課）	（交流推進課）	（観光政策課）					
目的	鳥取県文化の世界への発信	中国交流地域との更なる交流促進	鳥取県への観光誘客・促進	販路開拓・物流促進				
ターゲット	中国国民・エージェンツ・現地バイヤー等	中国交流地域（吉林省・河北省）	中国国民・エージェンツ	現地バイヤー等				
事業名	上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加事業			上海物産展・商談会開催事業				
予算額	17,822千円			8,499千円				
実施内容	・本県の文化を中心とした様々な情報発信イベントを実施 →日本の中の鳥取県を中国の人々に強く印象づける	・中国2地域（吉林省、河北省）との合同ステージ ・鳥取県の中国交流に関するパネル展示	・国際マンガサミット誘致も見据えた展示 ・鳥取県への誘客対策も検討	・物産展及び商談会等の開催 ・上海シャトル便を目指した現地調査活動				
※その他関連事業 （H21年度当初予算）2010年上海万博大阪出展と連携した鳥取県観光PR事業（観光政策課） →大阪館での関西圏自治体との合同展示等を実施（予算額：5,000千円）								
4 これまでの取組状況、改善点 従来より、青少年による国際文化交流を中心とし、海外における鳥取県の文化発信について実施してきたところであるが、本事業については、関係部局と連携し、観光・誘客や鳥取県産品の販路開拓に絡めた取り組みとして、より効果的で広がりのある事業とした。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7843)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫補助金	起債	その他	一般財源	
(新) とっとり伝統芸能まつり開催事業 (第46回郷土の民俗芸能大会)	9,911	0	9,911			(諸収入) 4,000	5,911	
トータルコスト	24,433千円 (前年度0千円) [正職員: 1.8人]							
主な業務内容	実行委員会の運営、開催に関する事務(運営計画等、出演者・動員者の調整、市町村との調整、大会運営)、広報宣伝活動							
工程表の政策目標(指針)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域で守られてきた伝統の行事・芸能を次世代に引き継ぐための取り組みとして、「日本のまつり・2009鳥取」の成果を踏まえ、「第46回郷土の民俗芸能大会」を集客力のある内容に拡充するとともに、伝承活用の気運を広げるために市町村(実行委員会含む)が開催する地域のまつり、イベントと併せて開催する。

2 主な事業の内容

(1) 第46回郷土の民俗芸能大会の開催

区 分	内 容	摘 要
出演団体	知事表彰団体2、併催市町村が希望する団体3、主催者選定団体5、県外団体1、海外団体1 (県内は各30人程度、県外・海外は各20人まで)	県内の隠れた伝統芸能にもスポットを当てるとともに、集客力のある伝統芸能を招聘
主 催	鳥取県、鳥取県教育委員会	
会場、時期	「郷土の民俗芸能大会」の併催を希望する市町村と調整	市町村の祭りやイベントと連携することによる相乗効果を期待

(2) 事業費

(単位: 千円)

区 分	予 算 額	内 容
実行委員会負担金	9,179	実行委員会開催経費、会場設営費、出演者関係費、広告宣伝費
標準事務費	732	
合 計	9,911	

(3) 市町村との連携

〈 県 〉 地域伝統芸能を集めたステージ公演を実施

〈 市町村 〉 併催市町村は市町村イベントでの上記出演団体の活用、大会PR等
出演団体の地元市町村は出演団体の練習の支援、大会PR等

3 これまでの取組状況、改善点

地域伝統芸能の全国大会「日本のまつり・2009鳥取」を開催し、目標の10万人を超え13万3千人の来場者があった。

来場者に伝統芸能のすばらしさを再認識していただくとともに、出演した県内団体の伝統芸能に対する意欲の向上、団体の活性化にもつながった。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 平城遷都 1300 年祭参加事業~"万葉有終の郷(さと)・鳥取情報発信"	3,151	0	3,151				3,151	
トータルコスト	4,765千円(前年度0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託契約事務、展示等の企画運営、出演者・関係機関等との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ (鳥取の優れた芸術文化、文化資源の情報発信)							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
鳥取自動車道の開通により、関西圏域からの交通アクセスが大幅に向上することから、万葉集最後の歌の故地・鳥取を"万葉有終の郷(さと)"として情報発信し、観光客増加に結びつけるため、奈良県で開催中の平城遷都 1300 年祭「平城宮跡会場」(奈良市)に出展・出演する。								
2 主な事業内容								
(1) 平城遷都 1300 年祭の概要								
会 期 等	「平城宮跡会場」(奈良市:メイン会場) 4月24日~11月7日 (その他に奈良県内各地で各種イベントを通年実施)							
出展施設等の概要	(交 流 ホ ー ル) 展示面積 365 m ² 。小ステージ、映像・音響等設備あり。 (まほろばステージ) 観客席 270 席。屋外立ち見含め最大 1,000 人鑑賞可能。							
(2) 鳥取県の出展・出演概要(予定)								
テ ー マ	"万葉有終の郷・鳥取"の魅力をお届けします!							
期 間	(交 流 ホ ー ル) 平成22年6月27日(日)・28日(月) (まほろばステージ) 平成22年6月27日(日)のうち1時間程度							
内容(案)	①交流ホールでの展示 ・都(関西)から下向した2人の国司、大伴家持(因幡)、山上憶良(伯耆)の足跡をたどる形で、修験道の三徳山、霊峰大山や、大陸との交流の舞台・日本海の形成過程を色濃く残す山陰海岸(世界ジオパークネットワーク加盟申請中)の魅力等をパネル等で紹介。 ・小ステージでは、和洋楽器のコラボレーション演奏の他、平成21年度制作の万葉有終の郷PRテレビ番組映像(本県出身音楽デュオ、門藤(かどふじ)出演)をリピート上映。 ・とつとりの美味珍味、「食のみやこ鳥取県」の物産販売。 ②まほろばステージへの出演 ・和洋楽器による「浦富八景」の演奏、因幡の傘踊り実演、奈良鳥取県人会参加のしゃんしゃん一斉傘踊り、鬼太郎など県ゆかりのキャラクターによる「まんが王国とつとり」をPRするパフォーマンス等を展開。							
3 平成22年度事業費								
会場運営・展示物作成・出演者派遣等業務委託料	1,995千円							
出演者報償費等・標準事務費	1,156千円							
4 これまでの取組状況								
昨年は万葉集最後の歌から1250年目に当たり、全国万葉フェスティバル in 鳥取の開催支援、万葉有終の郷PRテレビ番組の全国放送等を実施して情報発信に努めた。また、全国万葉フェスティバル in 鳥取会場に「せんとくん(マスコットキャラクター)」を招き、平城遷都 1300 年祭のPRを実施するなど、奈良県との連携も深めた。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7234)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第8回とりアート (鳥取県総合芸術文化祭) 開催事業	38,014	50,306	△ 12,292				38,014	
トータルコスト	67,059千円 (前年度94,217千円) [正職員: 3.6人]							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として開催される「第8回とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 期間 平成22年9月県展開幕日～11月末日(予定)</p> <p>(2) 場所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市文化ホールなど県下全域</p> <p>(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会</p> <p>(4) 主な事業内容</p>								
区分		内容						
【メイン事業】 「新・八賢士の世界」(仮称) [予算額 10,533千円]		◇地域に密着した題材や人材を活用して質の高い作品を提供するため、2年間かけて作品を制作する。 ◇22年度は、準備としての舞台制作を(財)県文化振興財団に委託。(23年度本番: 倉吉未来中心大ホール)						
【アートマネージャー育成事業】 [予算額 5,365千円]		◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の発掘と育成をめざす。						
①キラリ☆アートプロジェクト		全県より2事業の企画を公募し、公開審査により選定。採択された企画を実行委員会が提案者に委託し実施。						
②アートマネジメント研修会		講座3回・研修大会1回						
③各地区へのアートマネージャーの配置		実践できる活躍の場を提供するとともに、各地区事業の充実と円滑な実施のため配置						
【各地区企画運営委員会自主企画事業】 [予算額 7,010千円]		◇各地区会場において、県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野の拡大を図る。 また、会場外にも出向き文化芸術普及活動も行う。 ①公募により県民が実施する参加体験型事業 ②各地区企画運営委員会が自ら行う事業						
【広報費、運営事務費】 (実行委員会、評価委員会及び事務局運営費) [予算額 9,198千円]		◇各地区企画運営委員会及び全体広報 ◇市町村の地区企画運営委員会への参加と広報紙を活用したPRの連携 ◇実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費						
【事務局移管に係る人件費】 [予算額 5,908千円]		◇24年度までに事務局を段階的に県から(財)鳥取県文化振興財団に移管する。 ・22年度: 中部・西部地区企画運営委員会事務局 ・23年度: 東部地区企画運営委員会事務局 ・24年度: 県総合芸術文化祭実行委員会事務局						
<p>※アートマネージャーとは: 文化芸術に関する事業において、円滑な事業実施をプロデュースし、地域を巻き込み、鑑賞者と活動者双方へ働きかけながら、人材発掘やスタッフ・出演者等のコーディネートなど、事業に係る幅広い業務を担う人材のこと</p>								
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>総合芸術文化祭の更なる浸透のため、愛称を「とりアート」と決定しロゴマークも作成するなど広報活動に努めている。事業においても、メイン事業はとりアートの核として定着しつつあり、各地区企画運営委員会主催事業も、アートマネージャーを設置し、地域と密着した各地区独自の活動も充実しつつある。除々にではあるが若手アートマネージャーも増えつつある。 ※とりアート21年度観客数(延べ人数): 39,718人(20年度: 31,566人) 22年度以降メイン事業は、県内全域の人材の有効活用により、十分な準備期間を設け、質の高い作品を2ヵ年かけて制作することとした。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	230,373	253,224	△ 22,851				230,373	
事業の概要 一般職員 33名分の人件費								

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7133)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 歌い継がれる童謡・唱歌のふるさと体感事業	6,144	0	6,144			(繰入金) 6,144		
トータルコスト	6,951千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	委託契約事務、連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							

事業内容の説明

1 事業の概要

保育園、幼稚園、小学校及び特別支援学校等に在学(園)している子どもたちが、郷土出身の音楽家の作曲した童謡・唱歌に触れることにより、郷土に対する誇りや愛着を育てるため、次の事業を行う。

- 平成16年2月の改訂後、5年を経過した『童謡・唱歌のふるさと鳥取—こどものうた名曲集—』(昭和63年初版)及びCDを改訂し、保育園、幼稚園、小学校及び特別支援学校等に配布する。
子どもが郷土出身の音楽家が作曲した童謡・唱歌に親しむよう活用していただく。

<配布部数>

配布先(所属数)	冊子総数	CD総数	備考
保育園(204)	4,488	1,020	
幼稚園(40)	1,240	200	
小学校(149)	7,003	1,490	
特別支援学校(9)	180	90	
市町村(39)	613	730	図書館、公民館含む
わらべ館(1)	100	100	
その他	376	370	
計	14,000	4,000	

※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。

2 平成22年度事業費

(単位: 千円)

区分	事業費	内容
歌集・CD制作委託	6,144	(1) 歌集作成 4,984千円 (@356円×14,000冊) (2) CD作成 1,160千円 (@290円×4,000枚)

3 事業主体(委託先)

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7133)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (繰入金)	一般財源	
(新) 騒いでも大丈夫! はじめてのクラシック・親子体験事業	23,949	0	23,949			23,949		
トータルコスト	24,756千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金業務、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から3歳まで、4歳から小学生までをそれぞれ対象としたクラシックコンサートを行い、オーケストラへの興味を喚起し次世代鑑賞者の育成を図る。
また、この事業を契機として子育て支援に関係する団体間の関係強化を図る。

※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。

(1) コンサートの内容

- ① 0歳から3歳までを対象とするコンサート
 - ◇ 出演者: 日本サロンコンサート協会
 - ◇ 会場及び入場予定者数: 東、中、西部の各会場で親子約50組
- ② 4歳から小学生までを対象とするコンサート
 - ◇ 出演者: 関西フィルハーモニー管弦楽団
 - ◇ 会場及び入場予定者数: 東、中、西部の各会場で親子約500組

(2) 事業主体

子育て支援に取り組んでいる団体を主体とする実行委員会

2 平成22年度事業費

(単位: 千円)

区分	事業費	内 容
騒いでも大丈夫! はじめてのクラシック・親子体験事業補助金	23,949	(1) 0歳から3歳までを対象とするコンサート 補助金: 1,181千円 (②-①) <収入> 174千円...① 入場料 150千円 (大人500円、子ども無料) その他 24千円 <支出> 1,355千円...② 公演料 995千円 会場使用料 21千円 事務費 339千円 (2) 4歳から小学生までを対象とするコンサート 補助金: 22,768千円 (④-③) <収入> 1,500千円...③ 入場料 1,500千円 (大人500円、子ども無料) <支出> 24,268千円...④ 公演料 18,856千円 会場使用料 1,077千円 事務費 4,335千円

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7839)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (繰入金)	一般財源	
(新)「文化イベント &託児」推進事業	6,414	0	6,414			6,414		
トータルコスト	7,221千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	シンボルマーク等選定、実施団体等選定・委託契約事務、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							

事業内容の説明

1 事業の概要

文化イベントにおける託児利用を促進するため、「文化イベントと託児」の組み合わせをイメージできる親しみやすいシンボルマーク及びイメージキャラクターを一般公募で制作する。また、託児付きの文化イベントを紹介するPR紙を新聞折込形式で年3回発行する。

※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。

2 主な事業内容

(1) 「文化イベント&託児」PRシンボルマーク及びイメージキャラクターの公募

採用作品は本事業のPR紙や文化団体のチラシ等に掲載し、今後の「文化イベント&託児」PRに活用。

(2) PR紙「子どもと一緒に観に行こう!」の発行

全戸対象の新聞折込とし、県内3地区で年3回発行。制作・編集はNPO団体及び民間事業者からプロポーザル方式で選考して委託。印刷及び新聞折込は県が実施。

3 平成22年度事業費

内容	予算額
①PRシンボルマーク及びイメージキャラクターの公募	1,348千円 公募チラシ等経費 1,177千円 選定経費 171千円
②PR紙「子どもと一緒に観に行こう!」制作・編集業務委託(3地区)	1,805千円 委託料 582千円×3地区 受託者選定経費 59千円
③PR紙「子どもと一緒に観に行こう!」印刷・折込(全戸対象・年3回発行)	3,261千円 印刷費 1,821千円 折込費 1,440千円

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7133)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718	2,718	0				2,718	
トータルコスト	3,525千円 (前年度6,861千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	制度設計、周知説明、申請書の審査、補助金の支払い、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							
事業内容の説明								
1 事業の概要 本県における弦楽器活動者の裾野の拡大を図るため、弦楽器を始めて間もない青少年や未経験者を対象に弦楽器の魅力を伝える活動を行う実行委員会に対して経費助成を行う。								
2 事業費 補助金 2,718千円								
3 事業の内容								
補助対象者	東部、中部、西部の各地区ごとにオーケストラ指導者、高校弦楽部等顧問、弦楽器指導者などで構成する実行委員会							
補助事業	弦楽器に取り組む青少年の増加や鑑賞者の育成などを目的に、各地区実行委員会がニーズを踏まえ、自ら企画運営して行う事業							
補助率	10/10 (限度額 各906千円)							
補助対象経費	講師の招へいに要する経費(謝金および旅費)、会場および備品借上料、資料購入費、打ち合わせに要する経費、広報宣伝費、その他必要経費							
(新) 青少年のための弦楽入門支援事業	2,122	0	2,122			(繰入金) 2,122		
トータルコスト	2,929千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	連絡調整、物品購入事務等							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							
事業内容の説明								
1 事業の概要 弦楽器を(財)鳥取県文化振興財団に無償貸付した上で、子どもを対象にボランティアで弦楽器の指導を行う団体に対して無償で弦楽器の貸付等を行う「子ども文化スクール支援事業」を同財団に委託して実施しているが、西部地区の団体に貸し付ける弦楽器の絶対数が不足しているため、必要な弦楽器を購入する。 ※ 本事業の財源については、鳥取県安心子ども基金繰入金を活用する。								
2 平成22年度事業費								
		内容		予算額				
		チェロ、ヴァイオリン、ヴィオラ等の弦楽器を購入		2,122千円				

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」	2,300	2,590	△290				2,300	
トータルコスト	3,914千円（前年度4,247千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	補助金交付業務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標（指標）	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

1 事業の概要

0歳から小学校入学前の乳幼児（以下「未就学児」という。）の豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。

2 事業費

補助金 2,000千円（間接補助金、補助率：県1/2）

事務費 300千円（情報交換会経費）

<補助事業の概要>

（単位：千円）

事業区分	事業内容	平成22年度以降の変更点等	(21年度) 予算額
アートスタート活動支援事業	市町村と連携し、未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体への助成	○団体への直接補助金から、市町村を通じて団体を支援する間接補助金へ移行。 ※団体自ら公演等を実施する場合は、鳥取県文化芸術活動支援補助金（次世代鑑賞者育成支援事業）で対応。	(2,000) 2,000
【新】情報交換会の開催	アートスタートに係る情報や課題等を共有し、県内の次世代鑑賞者育成に資するため、補助事業者及び市町村担当者等による情報交換会を開催	○アートスタート発信事業の廃止に伴い、アートスタートに係る情報や課題を共有するため。	(-) 300

<平成21年度限りで廃止する事業>

○アートスタート発信事業（21年度予算額 500千円）

団体、市町村、県の間で情報共有を図る情報交換会の開催に組替え。

○アートスタート活動支援事業選定委員会（21年度当初予算額 90千円）

アートスタート活動支援事業の間接補助金化に伴い、事業選定を市町村が行うため廃止。

3 これまでの取組状況

○平成16年度からモデル事業を実施しており、近年では事業数や実施団体数など確実に伸びてきている。

〔平成19年度：6市町村 4団体 10事業〕
〔平成20年度：8市町村 9団体 13事業〕
〔平成21年度：9市町村 10団体 17事業〕

○しかし、未実施地域への一層の取組や地域に密着した事業運営が行われる中で、日ごろ芸術・文化活動に積極的に参加しない家庭へのアートスタート事業の周知など、環境整備が課題とされた。

○未就学児へのより積極的な働きかけが可能な市町村の関与が不可欠として、市町村間接補助金への移行を検討した。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課(内線:7133)

2目 計画調査費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業	1,214	1,214	0				1,214	
トータルコスト	2,021千円(前年度3,700千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	制度設計、周知説明、申請書の審査、実績報告書の審査、補助金の支払い							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の概要 県民が気軽に芸術・文化イベントに参加できるように手話、送迎バス、託児などの環境整備を行う団体等に対して経費の助成を行う。								
2 事業費 事務費 214千円 補助金 1,000千円								
3 事業の内容								
補助対象者	県内で芸術・文化イベントを主催するにあたり、誰もが芸術・文化イベントに参加できるような環境整備を行う団体等							
補助事業	手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助スタッフの配置、託児サービスの提供等の環境整備							
補助率	10/10 (限度額 1事業あたり100千円)							
補助対象経費	上記事業に要する環境整備に係る経費							
鳥取大学連携事業「芸術をかじってみませんか～コミュニティーアート講座～」	255	402	△147				255	
トータルコスト	3,482千円(前年度4,545千円) [正職員:0.4人]							
主な業務内容	受講生募集、体験講座運営補助、大学との連絡調整、成果発表運営補助							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の概要 鳥取大学と連携実施している「芸術体験講座」の受講生募集及び連絡調整、その他講座運営に係る経費の一部を負担し、県内活動者のすそ野の拡大を図る。								
2 事業費 事務費 255千円								
3 芸術体験講座の内容								
対象	広く一般県民							
分野	デザイン、コーラス、ダンス等							
講師	鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教員							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術鑑賞教室開催費	10,626	9,926	700				10,626	
トータルコスト	13,853千円 (前年度13,240千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	公演団体や学校との連絡調整、公演契約・支出事務							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県内の高校、特別支援学校の生徒を対象に、学校体育館及び文化施設等において芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな情操を培い、健全な育成に資する。								
2 主な事業内容								
(1) 対象	高等学校・特別支援学校							
(2) 募集	学校アンケートによりニーズ調査を行ったうえで、メニューを作成し、開催校を募集。斡旋を行う。 (演目は演劇、音楽、伝統芸能などから5つ程度選定)							
(3) 開催	公演までの開催校、公演団体、会場との連絡調整を行う。							
(4) 予算額	10,626千円							
※小中学校の芸術鑑賞については文化庁事業(国10/10)、または市町村実施(市町村交付金対象)で対応。								
小学校における音楽ワークショップ体験モデル事業	2,529	2,400	129				2,529	
トータルコスト	3,336千円 (前年度3,229千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	モデル校の選定・実施調整、ワークショップ実施業務委託契約締結、委託料の額の確定、委託料の支払い							
工程表の政策目標(指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
芸術教育を通じ、児童が自ら考え・想像し・創作する力を育むことができるよう、小学校の通常の音楽の授業として、国内屈指のオーケストラ楽団員による音楽ワークショップを体験する機会を提供するとともに、モデル事業の実施を通じ、教員が通常の授業において芸術教育を実践していくための一助とする。								
2 事業費 委託料 2,529千円								
3 事業の内容								
音楽ワークショップの企画及び運営実績のある関西フィルハーモニー管弦楽団に業務を委託し、鳥取県と鳥取県教育委員会の共催事業として実施。								
モデル校数	東部・中部・西部の各地区の小学校1校ずつ							
実施回数	1校あたり1日に3回実施(学年単位又は低・中・高学年の2学年単位)							
1単位時間	45分							
対象人数	1回あたりの児童数は30名から60名程度							
講師数	弦楽器奏者を中心に4名程度							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第54回鳥取県美術 展覧会開催事業	14,834	14,894	△60			(諸収入) 1,400	13,434	
トータルコスト	25,322千円 (前年度25,665千円) [正職員: 1.3人 非常勤職員: 1.3人]							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標 (指標)	裾野の拡大と頂点の伸長、上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							

事業内容の説明

- 事業の目的・概要
広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、観賞機会を提供し、美術文化の振興に寄与する第54回鳥取県美術展覧会を開催する。
- 主な事業内容

事業区分	予算額	事業内容
(1) 運営委員会・ 審査会開催	2,391	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催
(2) 開会式、表彰	2,561	・開会式及び表彰式の開催
(3) 展示、巡回展	8,702	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内4会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成
(4) その他事務	1,180	・広報、グッズの作成等

【参考】 第54回鳥取県美術展覧会の概要 (予定)

主催	鳥取県、鳥取県教育委員会
会場	県立博物館、倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館、米子市美術館、日南町美術館
会期	平成22年9月～11月 (上記会場を巡回)
部門	8部門 (洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン)
表彰	県展賞、奨励賞
展示	審査の上、約470点の作品を展示予定

鳥取県ジュニア美術 展覧会開催事業	10,482	10,729	△247				10,482	
トータルコスト	16,130千円 (前年度16,529千円) [正職員: 0.7人 非常勤職員: 0.9人]							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標 (指標)	きっかけ作り、人材育成の取組み							

事業内容の説明

- 事業の目的・概要
児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図ることを目的とした第8回ジュニア美術展覧会を開催する。
- 主な事業内容

事業区分	予算額	事業内容
(1) 運営委員会・ 審査会開催	634	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催
(2) 開会式、表彰	778	・開会式及び表彰式の開催 ・将来性のある作品に特別賞を新設
(3) 展示、巡回展	6,554	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示 ・図録・目録等の作成
(4) その他事務	2,516	・広報、グッズの作成等

【参考】 第8回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要 (予定)

主催	鳥取県、鳥取県教育委員会
会場	県内3会場を巡回
会期	平成22年11月下旬～平成23年1月中旬
部門	3部門 (「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」)
表彰	知事賞、教育長賞、奨励賞、特別賞 (新設)
展示	審査の上、本展示では約1,400点の作品を展示予定

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7133)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術活動支援補助金	15,572	15,158	414				15,572	
トータルコスト	18,799千円 (前年度 23,443千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	補助金交付業務、選定委員会開催、国民文化祭及び中四国文化の集いへの推薦業務							
工程表の政策目標(指標)	裾野の拡大と頂点の伸張							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県の文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠をおく芸術・文化団体が自主的・自発的に行う芸術・文化活動に対し支援を行う。

2 補助事業の概要

(単位 千円)

区分	事業内容	(21年度当初) 事業費
(1) 県内外で行われる優れた芸術・文化活動支援事業	○補助対象者自らが企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 8 本程度)	(2,400) 2,400
(2) 知事特認事業	○上記のうち特に優れたものに対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 1,000 千円、事業数 2 本程度)	(2,000) 2,000
(3) 刊行物発刊事業	○補助対象者が行う日本語による出版活動に対する支援 (補助率 1/2 以内、限度額 100 千円、事業数 5 本程度)	(1,000) 500
(4) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	○県内でステップアップを図ろうとする補助事業者が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 8 本程度)	(600) 800
(5) 周年支援事業	○定例的に行われる活動の周年事業に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 8 本程度)	(800) 800
(6) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	○芸術・文化活動をツールとしたまちづくりを行う団体による作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 5 本程度)	(500) 500
(7) 次世代活動者育成支援事業	○芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る文化団体が実施する作品展示・舞台公演に対する支援 ○(新) 0歳から小学校入学前までの未就学児を対象に補助事業者自ら実施する創造体験・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 13 本程度)	(800) 1,300
(8) 国民文化祭等参加推進事業	○第 25 回国民文化祭(H22 岡山)及び第 19 回中四国文化の集い(H22 岡山)に補助対象者が参加する経費を助成	(5,567) 5,781
(9) 選定委員会開催費	○(1)の事業に係る審査基準の設定及び事業計画書の審査 ○委員数 5 人	(280) 280
小計		(13,947) 14,361
(10) 事務費	○事業説明会及びチラシ作成等に要する経費	(1,211) 1,211
合計		(15,158) 15,572

※ 補助率は、波及効果が複数市町村に及ぶ活動の場合であり、波及効果が単独市町村に限定される活動の場合は、補助対象経費の 1/4 の額又は当該市町村からの助成額のいずれか低い額を当該補助金の限度額とする。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7235)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化団体連 合会活動支援補助 金	24,033	25,980	△1,947				24,033	
トータルコスト	28,874千円 (前年度33,437千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	補助金交付事務、鳥取県文化団体連合会への支援							
工程表の政策目標 (指標)	<ul style="list-style-type: none"> 裾野の拡大と頂点の伸長 上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供 							

事業内容の説明

1 事業の概要

地域に根ざした創造性の高い意欲的な活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図るとともに、文化的な公共サービスの担い手である鳥取県文化団体連合会の自立と活性化を支援し、県民が文化に親しめる環境を整備する。(鳥取県文化団体連合会への助成)

2 事業内容

区分	予算額	内 容
鳥取県文化団体連 合会活動支援補助 金	23,677	①加盟団体実施事業への補助(25事業) <ul style="list-style-type: none"> 対象事業 鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化団体が開催する事業(舞台、文芸等の発表、展示、研修事業、ワークショップ) 事業主体 県域文化団体 補助金額 補助率2分の1かつ上限2,000千円 交付方法 外部審査員を加えた審査会で対象事業を選定 ②県文連実施事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> ○芸術たしなみ講座 舞台、展示、文芸、市町村の各分野別団体が協働し、初心者のための芸術入門講座を開催するための経費 ○鳥カル研修会(H21年度はアートマネジメント研修会) 連合会の自立と活性化に向けた取り組みの一環として、会員及び県民を対象にした研修会を開催するための経費 ○機関誌発行 会員相互の情報交換・情報発信を活性化させるための機関誌を年1回発行に要する経費 ③事務局運営費への支援 鳥取県文化団体連合会事務局の運営費
県推進事務費	356	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7133)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県魅力ある博物館づくり事業	4,600	4,900	△300				4,600	
トータルコスト	5,407千円 (前年度6,557千円)			正職員: 0.1人 臨時職員: 0.1人				
主な業務内容	補助金交付、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							

事業内容の説明

1 事業の概要

文化拠点施設として魅力ある博物館づくりを推進するため、県内の民間の博物館等が実施する作品展及び県立を除く博物館等が実施する収蔵品等調査事業を支援する。

2 平成22年度事業費

(単位: 千円)

区分	(21年度当初) 事業費	内 容
鳥取県魅力ある展示支援事業	(3,200) 3,200	県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率: 1/2 (上限額 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため廃止。
鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業	(1,400) 1,400	県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料の及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率: 10/10 (上限額 350千円)
事務費	(300) 0	

とっとりの文化芸術探訪事業	5,022	5,101	△ 79	(諸収入) 12	5,010
トータルコスト	7,442千円 (前年度7,587千円) 正職員: 0.3人 非常勤職員: 1.0人				
主な業務内容	補助金交付業務、事業実績の確認、催しの企画・広報・実施への協力				
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値のあるもの」に気づくための働きかけ				

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

全国的に大きな業績を残している本県ゆかりの文化芸術分野の先人について、その魅力や業績を再発掘し、地域の文化資源として活用する取り組みを支援するとともに、その業績や魅力を県内外に広く発信し、本県の魅力の向上を図る。

2 主な事業内容

(1) 顕彰事業の立ち上げへの支援 300千円

県民で組織された実行委員会等が実施する文化芸術分野の先人の顕彰事業を行う実行委員会に対し、助成金を交付して、活動の拡大に向けた支援を行う。

[助成金の交付]

・ 限度額 300千円 (複数の者の顕彰を行う場合は500千円)

・ 事業費の1/2助成

・ 3年限度

(顕彰予定の先人)

・ 井上 靖 (小説家・詩人/戦時中日南町神福に家族が疎開。自身もしばしば訪問)

(2) 全国発信事業への支援 2,000千円

県民で組織された実行委員会等が実施する文化芸術分野の先人の顕彰事業のうち、特に全国的な情報発信が見込まれる事業について、助成金の交付を行い活動への支援を行う。

[助成金の交付]

・ 限度額 500千円以内

・ 事業費の1/2助成

(顕彰予定の先人)

・ 尾崎 翠 (小説家/岩美町出身)

・ 尾崎 放哉 (俳人/鳥取市出身)

・ 鷺見 三郎 (ヴァイオリニスト/米子市出身)

※尾崎翠顕彰事業については、顕彰事業10周年のため、今年度に限り1,000千円

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7843)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際文化交流事業	11,835	12,662	△827				11,835	
トータルコスト	16,676千円 (前年度19,290千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	派遣団体への経費助成、関係者との連絡調整、派遣に係る各種調整・支援、派遣団随 行、出品作品の輸送・展示等							
工程表の政策目 標(指標)	すそ野の拡大と頂点の伸長							
事業内容の説明 事業の概要 韓国江原道をはじめとする環日本海諸国と、青少年及び県内文化団体の芸術文化交流を行うことで、 本県の文化芸術を発信するとともに、相互理解と参加団体の意欲及び技術の向上を図る。								
区分	予算額	内 容						
鳥取県文化団体連 合会国際交流支援 事業	4,357	鳥取県文化団体連合会の加盟団体が、韓国江原道等の文化団体 と交流を行う事業に対して助成し、芸術・文化を通じた国際理解 及び文化交流を促進する。(補助率1/2)						
		第7回鳥取県・ 韓国江原道写真 交流事業	実施主体	鳥取県写真家連盟	開催地	韓国江原道	派遣人数	5名程度
		第7回鳥取県・ 韓国江原道交流 美術展	実施主体	鳥取県美術家協会	開催地	鳥取県	受入人数	5名程度
		鳥取県・韓国江 原道オペラ交流 事業	実施主体	鳥取オペラ協会	開催地	韓国江原道	派遣人数	5名程度
国際文化交流事業 (青少年による文 化交流)	6,044	韓国江原道で開催される「江陵国際青少年芸術祝典」及び台湾 台中県で開催される「台中大甲媽祖国際観光フェスティバル」に 本県の青少年を派遣し、伝統芸能等を披露するとともに各地域の 青少年と交流し相互理解を図る。						
		江陵国際 青少年芸 術祝典	開催時期	8月上旬	開催地	韓国江原道江陵市鏡浦海水浴場	参加者	世界10カ国20都市の青少年
			派遣人員	米子白鳳高校郷土芸能部16名(予定)				
		台中大甲 媽祖国際 観光フェス ティバル	開催時期	3月下旬	開催地	台湾台中県内大甲鎮瀾宮ほか各箇所	参加者	世界各地の文化芸術団体等
			派遣人員	日野高校郷土芸能部18名(予定)				
国際文化交流事業 (北東アジア地方 政府サミット美術 作品展示会)	1,434	第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットと 併催される第12回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会 に美術作品を出品するとともに、代表団を派遣し、各地域の美術 家との交流を促進する。						
		開催時期	平成22年5月頃(サミット開催時)					
		開催地	韓国江原道(詳細は未定)					
		参加国	鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、モンゴル中 央県、ロシア沿海地方					
		内 容 (予定)	①美術作品の出展 分 野: 洋画・伝統画、書道、写真、版画 出展数: 各地域15点(合計75点) ②代表団の派遣 人 数: 4名(美術家3名、行政職員1名) 期 間: 5泊6日					

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7134)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化功労賞 知事表彰	3,895	3,873	22				3,895	
トータルコスト	5,509千円 (前年度5,530千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	選定委員会の開催、表彰式の開催、作品展の企画運営、関係者との連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	文化芸術活動の活性化 裾野の拡大と頂点の伸長							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>優れた文化芸術活動により、広く文化の振興に功績のあった方の功労をたたえて表彰し、県民文化の向上発展に資する。また、受賞者の作品展を開催し、その功績を広く県民に紹介する。 〔表彰の対象者〕</p> <p>芸術文化の各分野において顕著な功績をあげ、県民文化の向上発展に貢献した県民（県内に在住していた者を含む。）で、永年にわたり芸術文化活動に従事し、功績顕著な者</p>								
2 平成22年度事業費								
(1) 文化功労賞 3,559千円								
①表彰式								
日時: 12月下旬 (予定、巡回展開催前もしくは開催初日)								
場所: 知事公邸又は巡回展会場								
②巡回展								
県内3カ所程度の巡回展とし、県民へ受賞者とその功績・作品を紹介する。								
時期: 1月上旬～3月 (各箇所5日程度)								
場所: 県内3ヶ所程度 (東部、中部、西部各1箇所)								
(2) その他知事賞 336千円								
その他の知事賞の表彰状及び副賞楯交付に係る経費								
鳥取県文化芸術振 興審議会運営費	674	620	54				674	
トータルコスト	2,288千円 (前年度2,277千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	審議会の運営、審議会に必要な調査・資料作成、審議会委員との連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ ・裾野の拡大と頂点の伸長 ・アーティストリゾートの推進 ・上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供 ・きっかけ作り、人材育成の取り組み 							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>文化芸術の振興に関する事項を調査審議するため条例により設置した「鳥取県文化芸術振興審議会」を運営する。</p> <p>開催回数: 年4回程度 審議会委員: 10人 (定数 10人以内)</p>								
2 平成22年度事業費 674千円 (審議会委員の旅費、報酬等)								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
鳥取県立県民文化会館管理委託費	236,360	235,046	1,314			15,750	220,610	
トータルコスト	238,780千円（前年度238,360千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>県民文化会館（とりぎん文化会館）の管理運営及び本県の文化振興を図るための事業の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 <p>2 平成22年度事業費 委託料 236,360千円</p> <p>（参考）5か年分の委託料 1,177,845千円</p>								
鳥取県立倉吉未来中心管理委託費	88,743	88,743	0				88,743	
トータルコスト	91,163千円（前年度92,057千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>倉吉未来中心の管理運営業務の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 <p>2 平成22年度事業費 委託料 88,743千円</p> <p>（参考）5か年分の委託料 816,455千円 （うち県委託料 443,715千円）</p> <p>※ 委託料のうち、アトリウム及び学校・障害者減免の補てんに要する経費は県、その他は県と倉吉市が1/2ずつ負担する。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立童謡館管理委託費	72,896	74,647	△ 1,751				72,896	
トータルコスト	76,123千円（前年度77,961千円） [正職員：0.4人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	「ほんもの」「価値あるもの」に気づくための働きかけ							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>童謡館の管理運営及び文化事業の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：財団法人鳥取童謡・おもちゃ館 ・指定期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日 <p>2 平成22年度事業費</p> <p>(1) 委託料 72,676千円</p> <p>(参考)</p> <p>5か年分の委託料 719,615千円（うち県委託料 363,380千円）</p> <p>※委託料は、文化事業費（童謡・唱歌に係る事業は県負担、おもちゃに係る事業は鳥取市負担）を除き、県と鳥取市で1/2ずつ負担する。</p> <p>(2) 事務費 220千円</p>								
県民文化会館等施設整備事業	1,190	22,630	△ 21,440				1,190	
トータルコスト	2,804千円（前年度23,459千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係課との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>県民文化会館（とりぎん文化会館）及び倉吉未来中心の施設運営に必要な設備の整備、保守管理、施設の修繕等に要する経費。</p> <p>2 平成22年度事業費 委託料 1,190千円</p> <p>県立文化施設ネットワークシステム保守運用管理業務委託 1,190千円</p> <p>とりぎん文化会館、倉吉未来中心及び米子コンベンションセンターを鳥取情報ハイウェイに接続し、外部との情報通信を行うシステムの保守管理に要する経費。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7839)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県民文化会館(とりぎん文化会館)舞台機構設備改修工事	233,895	14,067	219,828				233,895	
トータルコスト	235,509千円(前年度16,553千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	指定管理者・関係課・契約相手方との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
県民文化会館(とりぎん文化会館)梨花ホール舞台機構設備のうち、劣化が顕著となっている制御系統・吊物機構等の改修を行う。(3ヵ年の継続費の2年目)								
注1) 制御系統: 幕類や照明等の吊物の昇降、舞台迫りの昇降、音響反射板の移動といった、舞台機構の動作を制御するための装置。								
注2) 吊物機構: モーター、滑車等からなり、吊物を実際に駆動させる機構類。								
(1) 工期及び工事関係予算額 (平成21年度~23年度 継続費設定)								
	年度	内容		予算額				
	平成21年度	基本・実施設計		13,443千円				
	平成22年度	制御系統改修工事		233,895千円				
	平成23年度	吊物機構改修工事		407,062千円				
	計		654,400千円					
※ 工事期間の梨花ホール休館により、施設利用料の減収、ホール設備保守経費の減などが見込まれる場合には、影響額を算出の上、当該年度の指定管理委託料を変更することがある。								
(2) 平成22年度工事スケジュール(予定)								
平成22年4~12月 実施設計及び工場における機器製作等								
平成23年1~3月 梨花ホールにおける施工								
2 平成22年度事業費								
委託料 3,902千円(工事監理委託料)								
工事請負費 229,993千円								
文化観光局管理運営費	16,275	23,296	△7,021			(借収入) 2,555	13,720	
トータルコスト	55,001千円(前年度63,064千円) [正職員: 4.8人 非常勤職員: 1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、文化観光局業務の方針検討、負担金の支払い、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要 (単位: 千円)								
事業名	事業費		事業内容					
財団法人地域創造負担金	2,545		財団法人地域創造の運営基盤を整備するため、宝くじの売上額に応じて財政的支援を行う。					
事務費等	13,730		非常勤職員の賃金、文化観光局にかかる事務費等					

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（廃止）全国万葉 フェスティバルin 鳥取開催支援事 業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円（前年度 4,657千円）							
事業内容の説明 （廃止）								
（廃止）日本のま つり・2009 鳥取開 催事業	0	90,524	△90,524					
トータルコスト	0千円（前年度 136,920千円）							
事業内容の説明 （廃止）								
（廃止）「再興第9 3回院展鳥取展」 開催支援事業	0	2,000	△2,000					
トータルコスト	0千円（前年度 3,657千円）							
事業内容の説明 （廃止）								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7421）→事業実施：文化政策課

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使手料)	一般財源	
鳥取県立米子コンベンションセンター管理費	91,508	91,375	133			383	91,125	
トータルコスト	93,122千円（前年度95,518千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係市との協議調整							
工程表の政策目標（指標）	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 米子コンベンションセンターの管理運営を指定管理者に行わせるとともに、必要な修繕・備品購入を行い、利用者の利便性向上、質的環境の整備を図る。 ○指定管理者 財団法人とっとりコンベンションビューロー（米子市末広町294） ○指定管理期間 平成21年4月1日～26年3月31日（5年間）</p> <p>2 主な事業内容 管理運営委託料 91,508千円</p>								
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	114,319	115,419	△1,100			(使手料) 113	114,206	
トータルコスト	115,933千円（前年度119,562千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、修繕事務等							
工程表の政策目標（指標）	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 夢みなとタワーの管理運営を指定管理者に行わせるとともに、必要な修繕を行い、利用者の利便性向上、質的環境の整備を図る。 ○指定管理者 財団法人鳥取県観光事業団（鳥取市栄町606） ○指定管理期間 平成21年4月1日～26年3月31日（5年間）</p> <p>2 主な事業内容 管理運営委託料 114,210千円</p>								

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3186）

2目 計画調査費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
中部振興活動費	(5,422) 3,000	(3,000) 3,000	(2,422) 0			(2,422) 0	(3,000) 3,000	
トータルコスト	8,648千円（前年度10,457千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	地元市町及び民間と連携した文化振興、観光促進、三徳山等文化遺産の活用に向けた情報発信、企画調整など							
工程表の政策目標（指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・三徳山地域の世界遺産登録とまちづくりへの活用 ・文化芸術活動における県民の積極的な参加と次世代を担う若者の育成 							
※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額								
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
文化振興、観光促進、三徳山等文化遺産の活用による地域活性に向けて、地元市町や民間団体等と連携し取り組むための経費								
2 主な事業内容								
(1) 振興活動事業（3,000千円）								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元市や NPO、民間団体等と連携し、文化、景観、食などの地域資源を活用したまちづくりを支援・促進する。 ・ 三徳山の文化的価値に係る情報を県内外へ発信するとともに三朝温泉等と連携してまちづくりへの活用を図る。 ・ 総合芸術文化祭などの文化施策と関連させ次世代育成や地域資源を活用した地域文化の創造や活動者を支援する。 								
(2) 中部の魅力再発見事業（緊急雇用創出事業：2,422千円）								
中部の観光スポット、特産物、食べ物、催事など多岐に渡り役立つ「旬の情報」をきめ細やかに県内外へ発信し誘客を図るため、情報収集やホームページ（「鳥取県ちゅうぶ観光ナビ」）の更新・充実を行う非常勤職員（1名）を配置する。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課 (内線: 7240)

1 目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県・江原道・沿海地方による青少年交流事業	4,407	0	4,407				4,407	
トータルコスト	8,441千円 (前年度: 0千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	事業の企画・立案、江原道・沿海地方政府及び関係部署等との連絡 調整、資料の翻訳、交流事業を行う民間団体の支援、受入時の随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援 北東アジア地方政府サミットのフレームを活用した研究・検討や事業実施							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>2009年7月に開設された境港～東海～ウラジオストクの航路も2010年7月で就航1周年を迎えることとなり、「北東アジア大交流時代」に向けて、鳥取県と友好交流関係にある韓国江原道、ロシア沿海地方との幅広い分野における活発な交流が期待されている。</p> <p>このような状況の中で、三地域の国際理解、国際交流を促進し、環日本海航路の利用促進につながることを目的として、次世代を担う青少年交流事業を三地域(鳥取県、江原道、沿海地方)連携のもと実施する。</p> <p>また、次世代を担う青少年交流について三地域の連携した事業実施の枠組みを検討すべく、行政担当者等による交流協議を同時開催する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 4,407千円								
(2) 事業内容								
① 三地域連携の交流活動								
ア 期間 7月の3～4日程度(於: 鳥取県)								
イ 対象 鳥取県・江原道・沿海地方の青少年(各地域12名程度)								
ウ 交流分野(候補) 環境、スポーツ交流など三地域にとってメリットがありかつ連携可能性のある分野について三地域協議の上決定								
エ 内容 交流活動・交流試合などの開催、交流記念式典、交流紹介パネル展の実施								
② 青少年交流行政担当者による交流協議								
ア 期間 7月の3～4日程度(三地域連携の交流活動と同時期)								
イ 対象 鳥取県・江原道・沿海地方の青少年交流担当官等(各地域3名程度)								
ウ 協議内容(案) 三地域連携による青少年交流の枠組み作り、次期開催地、交流内容等								
3 これまでの取組状況(2006年以降)、改善点								
(1) 鳥取県と沿海地方の主な青少年交流事業:								
○剣道交流 ロシア・サントペルブルグ剣道連盟の鳥取県訪問(2006年9月) 鳥取県剣道青少年代表団(米子松蔭高校)をロシア沿海地方に派遣(2009年7月)								
○バドミントン交流 鳥取県バドミントン協会青少年交流団の派遣(2007年7月、2009年9月)								
○柔道交流 極東柔道代表団(29名)が鳥取県を訪問(2010年1月)								
(2) 鳥取県と江原道の主な青少年交流事業:								
○鳥取県・江原道親善スポーツ大会(2001年から毎年実施。) 【これまでの競技種目】剣道、柔道、バドミントン、フェンシング、カヌー、アーチェリー、卓球、レスリング、バレーボール、ソフトテニス								
○柔道交流 鳥取県江原道青少年親善柔道大会訪問団が江原道を訪問(2006年8月)								
(3) 改善点								
今まで二地域間で展開していた交流事業等を、三地域間による連携事業として効果的に運営、実施する。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7122）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア沿海地方交流推進事業	8,760	1,557	7,203				8,760	
トータルコスト	21,669千円（前年度：6,528千円）[正職員：1.6人]							
主な業務内容	沿海地方との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援 北東アジア地方政府サミットのフレームを活用した研究・検討や事業実施							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
沿海地方及び鳥取県において相手地域に対する認知度をアップさせ、幅広い分野における交流を推進するため、各種交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 8,760千円								
(2) 事業内容								
①「ロシア沿海地方における鳥取県文化デイズ」								
日本の伝統文化（着物、書道など）や伝統芸能等をPRする団を派遣しPRイベント及び交流事業を実施することにより、「日本＝鳥取県」のイメージをロシア沿海地方住民に抱かせる。								
・派遣人数 15名まで（11月ごろ実施予定）								
②「鳥取県における沿海地方週間」								
ロシア沿海地方の民俗舞踊団による公演、少数民族文化紹介、マトリョーシカ展示会等を県内で集中的に実施するとにより、鳥取県民にロシア沿海地方文化に親しんでもらうとともに、両地域の交流を深める。								
・実施時期 10月ごろ								
③「ロシアから鳥取県への受入事業」								
ロシア沿海地方から、スポーツ交流団（バスケット、バドミントンなど）、マスコミ訪問団等を受け入れることにより、相互理解の促進、鳥取県のPRにつなげる。								
・受入人数 15名まで（年6回実施予定）								
④「鳥取県からロシアへの派遣事業」								
平成21年度に引き続きロシア沿海地方へ鳥取県から剣道交流団を派遣する。								
・派遣人数 15名まで（8月ごろ実施予定）								
⑤「ロシアに関する講習会」								
講師を招へいしてロシア料理講習会、ロシア民俗楽器講習会を実施（年2回）								
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県立図書館とゴーリキー図書館及びロシア沿海地方児童図書館との図書交換（1995年～）、新体操交流（2004年～）、青少年バドミントン交流（2006年～）など長年にわたる交流事業の実施により、沿海地方と相互理解及び友好関係を深めてきた。平成21年度はウラジオストクにおいて「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」を実施し、沿海地方における本県の知名度を高めた。								
また、鳥取県で実施されるロシア沿海地方の複数の文化交流事業について、「鳥取県における沿海地方週間」として集中的に実施することで、効果的、効率的に交流を推進する。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米国バーモント州 交流促進事業	11,385	2,915	8,470				11,385	
トータルコスト	19,453千円（前年度：5,401千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	事業の企画・立案、バーモント州側との連絡調整、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、出張時の随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>平成20年6月に国際親善に関する覚書を締結し、地方政府間でも文化や教育など様々な分野での交流を継続することを確認したところである。こうした背景の下、バーモント州での鳥取の文化・観光のPRや次世代の交流の担い手を育成するための青少年交流事業等を推進する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 11,385千円								
(2) 事業内容								
①環境をテーマとした青少年交流事業								
<p>バーモント州の民間環境交流団体 GATP (Green Across The Pacific) と連携して、県内の高校生等20名（生徒15名、引率5名）を2週間程度派遣し、ホームステイをしながら、現地の高校生と共にフィールドスタディを中心に環境学習や交流を展開する。</p>								
②とっとりの民芸PR事業								
<p>バーモント州内で鳥取県と交流の可能性のある高校等において、県産の民芸を中心としたミニ展示を巡回して行うことにより、鳥取県の文化・観光の情報発信を行い、鳥取県への関心の醸成を図る。</p>								
③交流拡大に向けた鳥取県PR事業								
<p>GATP 代表者、バーモント州政府職員、同州内で鳥取県との交流に積極的な高校の教員等を招致し、鳥取県をよく知っていただくとともに、今後の交流拡大に向けた協議を行う。</p> <p>※ GATP：世界の国々との交流を通じて文化的理解と環境に対する認識を深めることを目的としている民間環境交流団体。</p>								
3 これまでの取組状況、改善点								
(1) 環境をテーマとした青少年交流事業								
<p>平成21年9月に事前協議団を派遣した際に、プログラムの基本的な枠組みについて合意するとともに、GATP から本県と交流を希望する3つの高校を紹介していただき、今後の交流拡大につなげることができた。今年22年3月には、初めて高校生主体の青少年団を2週間程度派遣し更なる交流促進を図る。平成22年度は GATP 代表者をはじめ、本県と交流の可能性のある団体等のキーパーソンを招へいし、一層の交流拡大を図る。</p>								
(2) とっとりの民芸品PR事業の開催								
<p>世界的に注目を集める日本の民芸をテーマに、平成22年10月、バーモント州内の図書館において、県産民芸品を約1カ月間展示紹介するとともに、竹細工等のワークショップを開催し、鳥取県の文化・観光の情報発信を行った。平成22年度は鳥取県と交流の可能性のある同州の高校等に絞って事業を実施し、効率的なPRを行うとともに今後の交流への展開を図る。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課(内線:7080)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (手数料)	一般財源	
パスポート発給事務費	(債務負担行為) 60,000 33,670	24,376	9,294			(債務負担行為) 53,060 26,530	(債務負担行為) 6,940 7,140	
トータルコスト	52,226千円(前年度:55,859千円) [正職員:2.3人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付、課内庶務等							
工程表の政策目標(指標)	低コストで高サービスの窓口の実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

旅券法に基づき、一般旅券(パスポート)の申請受理、作成及び適正な交付を行う。

2 主な事業内容

(1) 事業費 33,670千円(委託料32,000千円、事務費1,670千円)

(2) 事業内容

県庁・中部総合事務所・西部総合事務所・日野町役場・日南町役場・江府町役場の県内6箇所に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査・作成及び適正な交付を行う。

そのうち、県庁・中部総合事務所・西部総合事務所については、業務の一部を民間業者へ委託する。(日野県民局の窓口は廃止し、日野郡3町に権限移譲)

《委託業務の概要》

①委託対象業務

○電話案内、申請・交付窓口業務及び作成業務等

②委託対象外業務

《旅券発給(法定受託事務)を確実に実施するために必要な業務》

○作成の最終審査

○慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務(判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応)等

③委託期間 平成22年4月1日から3年間(平成22~24年度)

(平成23から24年度は債務負担行為を設定)

《窓口の開設時間》

21年度	区分	県庁				西部			中部			日野				
		申請	月~金	8時30分~17時												
交付	月~金	8時30分~18時30分				8時30分~18時30分						(17時以降は予約制)				
	日	8時30分~17時									-					
22年度	区分	県庁			西部			中部			日野町		日南町		江府町	
		申請	月~金	8時30分~18時30分		8時30分~17時		8時30分~17時			8時30分~17時15分		8時15分~17時		8時30分~17時15分	
		交付	月~金	8時30分~18時30分						3町とも申請と同時間						
	日	8時30分~17時									-					

※ 太枠内が日野郡三町への権限移譲部分

3 これまでの取組状況、改善点

○平成20年度から県民の利便性向上のため、旅券交付業務の日曜開庁及び平日の時間延長を実施。

《20年度》「県庁」日曜開庁及び平日時間延長(17時→18時30分)。

「西部・中部・日野」平日時間延長(17時→18時30分) 予約制

《21年度》「西部」日曜開庁及び平日時間延長(17時→18時30分)

○平成22年度においては、更なる県民サービスの向上を図るため、県庁、中部、西部の窓口業務の一部を民間業者へ委託し、窓口の開設時間を延長。

・申請・・・〈県庁〉平日時間延長(17時00分→18時30分)

・交付・・・〈中部〉平日時間延長(17時00分→18時30分)

○また、日野県民局の窓口は、住民に身近な行政は住民に身近な地方公共団体で行うという地方分権の基本理念に立ち、より住民サービスの向上を図ることができるよう、日野郡3町に権限移譲

○上記によりトータルコストは、平成21年度の55,859千円(従事人役:正職員3.8人)から52,226千円(従事人役:正職員2.3人)へ削減(△3,633千円)

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進費	5,308	5,308	0				5,308	
トータルコスト	21,444千円（前年度：23,535千円）[正職員：2.0人]							
主な業務内容	韓国江原道との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取県及び江原道職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換等を行うとともに、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営に対して支援を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 5,308千円								
(2) 事業内容								
①江原道職員の受入や交流協議団の相互派遣等								
②日韓友好資料館企画運営委員会への助成								
琴浦町が設置している日韓友好資料館の企画・運営に係る経費への助成								
鳥取県ソウル駐在員活動事業	4,202	4,242	△40				4,202	
トータルコスト	5,009千円（前年度：5,071千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	ソウル駐在員との契約事務、関係部署との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
鳥取県と江原道等との交流の現地支援及び米子・ソウル便、環日本海定期貨客船の利用促進を図るため、現地旅行会社へのPR、連絡調整、マスコミ招致等の業務を行う鳥取県ソウル駐在員（1名）を引き続き配置するための経費								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 4,202千円								
(2) 事業内容								
・鳥取県への誘客促進（旅行商品造成支援、マスコミ・旅行会社招致活動）								
・各種情報収集・調査（韓国訪日旅行動向、経済動向等）								
・その他県及び市町村の各種交流事業に対する支援等								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「話してみよう韓国語」鳥取大会開催事業	1,431	1,480	△49				1,431	
トータルコスト	2,238千円（前年度：2,309千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	韓国文化院との調整、広報、大会準備及び運営等							
工程表の政策目標(指標)	民間等と連携した戦略的事業の実施等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>国際理解の推進に高い効果がある外国語学習を支援するため、本県との交流が活発な韓国に関心のある韓国語学習者に参加を広く呼びかけ、スキット（寸劇）形式による韓国語発表コンテストを韓国文化院と共催で開催する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 1,431千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>「話してみよう韓国語」鳥取大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 平成22年12月頃 ・開催場所 県内 ・実施方法 外部委託 								
中国交流推進事業	6,580	3,558	3,022				6,580	
トータルコスト	13,841千円（前年度：9,358千円）[正職員：0.9人]							
主な業務内容	河北省・吉林省との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中国河北省・吉林省との交流を推進するため、青少年文芸交流団、青少年卓球交流団及び交流協議団の派遣等を行うための経費</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 6,580千円（うち吉林省3,865千円、河北省2,715千円）</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>①青少年文芸交流団の派遣（吉林省）</p> <ul style="list-style-type: none"> *吉林省で開催される国際文化美食祭にあわせ派遣 ア 時期 8月～9月（予定） イ 交流団 高校生 10名程度（予定） <p>②青少年卓球交流団の派遣（河北省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 時期 冬休みまたは春休み期間の5日間（予定） イ 交流団 選手及び監督 6名（予定） <p>③交流協議団の派遣（吉林省・河北省）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 時期 未定 6日間 イ 人数 3名程度 								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7122）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
モンゴル中央県交流推進事業	4,013	1,375	2,638				4,013	
トータルコスト	10,467千円（前年度：5,518千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	モンゴル中央県との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体へ支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 モンゴル中央県との交流を推進するため、農業技術研修員の受入、農業専門家の派遣、行政実務研修生の受入、及び交流協議団の派遣を行うための経費								
2 主な事業内容								
(1)事業費 4,013千円								
(2)事業内容								
①農業研修生の受入（生産技術および指導技術の向上を目指した実習）								
ア 時期 7月～8月（予定）								
イ 場所 鳥取県（園芸試験場等）								
ウ 人数 1名								
②農業専門家の派遣（農業指導講習会等の開催）								
ア 時期 7月の1週間程度								
イ 場所 モンゴル中央県								
ウ 人数 1名								
③行政実務研修生の受入（鳥取県の税務制度、組織人事、議会制度等の分野の研修）								
ア 時期 12月中旬の1週間程度								
イ 場所 鳥取県								
ウ 人数 3名								
④交流協議団の派遣（モンゴル中央県との次年度交流事業等についての協議）								
ア 時期 7月中旬								
イ 場所 モンゴル中央県								
ウ 人数 2名（予定）								
※ 昨年度のモンゴル中央県交流推進事業及び海外協力推進事業を一本化し、モンゴル中央県交流推進事業とした。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7122)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾交流推進事業	4,569	2,028	2,541				4,569	
トータルコスト	11,023千円 (前年度: 8,656千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	台湾台中県との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体への支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>台湾台中県との青少年交流を通じた相互理解、国際理解を促進させるため、鳥取県から中学生サマースクール団を派遣する。</p> <p>また、2010年12月に台中県と台中市が合併し、新しい台中市が誕生するため、今後の交流方針及び交流事業について協議するため、台中市へ交流協議団を派遣する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 4,569千円								
(2) 事業内容								
①台中県へのサマースクール団派遣								
ア 時期 7～8月頃 5泊6日 (予定)								
イ 人数 15名程度								
ウ 内容 学校訪問、ホームステイ、視察など								
②新台中市への交流協議団派遣								
ア 時期 1～7月頃 3泊4日 (予定)								
イ 人数 4名 (局長、課長、担当、国際交流員)								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7240)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,588	2,514	△926				1,588	
トータルコスト	8,042千円 (前年度: 5,000千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	会議参加に係る企画・立案、開催地域・関係部署等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、随行通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援 北東アジア地方政府サミットのフレームを活用した研究・検討や事業実施							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>韓国江原道で開催される「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」へ鳥取県代表団を派遣する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 1,588千円</p> <p>(2) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット</p> <p>ア 時期 5月頃 (予定)</p> <p>イ 場所 韓国江原道</p> <p>※北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催に合わせて、以下の事業が開催される見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品展示会 ・マスコミ代表者会議 ・大学教授協議会 等 <p>(参考) これまでの取組状況</p> <p>友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県及び鳥取県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、1994年から各地域持ち回りで開催。</p> <p>(本県では、1995年11月、1997年8月、2000年11月、2007年10月に開催)</p> <p>サミットの合意内容に基づき、経済協議会、環境フォーラム、観光促進協議会、取引商談会、美術作品展示会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議等を実施してきた。</p> <p>※これまでの主な成果</p> <p>(1) 幅広い分野での多地域間交流の推進</p> <p>経済、観光、青少年、文化芸術、学術・教育等、多様な分野で地域間交流を実現</p> <p>(2) 大規模イベント等への参加協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1997年 山陰夢みなと博覧会 (鳥取県) ・1997年 極東国際博覧会 (ロシア沿海地方) ・1999年 江原道国際観光博覧会 (韓国江原道) ・2000年 東アジア地方政府観光フォーラム【EATOF】(韓国江原道) ・2002年 国民文化祭 (鳥取県) ・2004年 東アジア地方政府観光フォーラム【EATOF】(鳥取県) ・2005年 全国生涯学習フェスティバル (鳥取県) ・2009年 日本のまつり2009 (鳥取県) 								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7122)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
北東アジア地域自治体連合参加事業	659	659	0				659	
トータルコスト	2,273千円 (前年度: 2,316千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	北東アジア地域自治体連合事務局との連絡調整、会議参加に係る企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>北東アジア地域自治体連合 (NEAR) は、北東アジア地域の自治体が相互にネットワークを形成し、アジア地域全体の共同発展を目指すことを目的に 1996 年に創設された国際連携組織 (6カ国69自治体が加盟)。北東アジア地域との幅広い交流に向け、特に、本県の交流地域以外との交流チャンネルとして活用し、情報交換、情報発信を行っている。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 659千円								
(2) 事業内容								
①総会への派遣								
ア 時期 9月頃 3泊4日 (予定)								
イ 場所 韓国京畿道								
ウ 人数 4名 (局長、担当者、国際交流員他)								
②実務者ワークショップへの派遣								
ア 時期 6月頃 3泊4日 (予定)								
イ 場所 韓国慶尚北道								
ウ 人数 3名 (課長、担当、国際交流員)								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7595)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	45,721	47,305	△1,584				45,721	
トータルコスト	48,948千円 (前年度: 51,448千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	国際交流財団を通じた助成、ホームステイなどボランティアの育成活用							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
地域の国際化を推進するため、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費								
補助金 45,721千円								
(2) 事業内容								
①管理運営事業 (37,765千円)								
地域国際化の拠点としての財団事務所を運営するために必要な人件費、光熱水費等の管理運営費、在住外国人の相談業務等を行う国際交流コーディネーターの設置に要する経費								
②情報収集提供事業 (1,558千円)								
機関誌の発行、財団及び民間団体が実施する事業などの情報提供 (年4回 各1,800部発行)、ホームページ運営、メルマガ配信に要する経費								
③交流活動支援事業 (160千円)								
ホームステイ受入講座の開催や受入家族のボランティア活動保険加入等により、ホームステイの活性化を促進								
④国際化推進事業 (630千円)								
子どものための異文化理解講座等を開催し、在住外国人と地域住民との相互交流を促進								
⑤海外移住、協力事業 (1,732千円)								
海外県人会への助成、青年海外協力隊の活動PRを目的とした帰国報告会の開催等を支援								
⑥在住外国人支援事業 (3,876千円)								
在住外国人向けの日本語クラスの実施、日本語講師・ボランティア養成講座の実施、私費留学生に対する奨学金支給に要する経費								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多文化共生社会支援事業	776	1,434	△ 658				776	
トータルコスト	2,390千円（前年度：2,263千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	関係機関の連絡調整会議の共同開催、補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	国際交流財団と協力し、基礎的サポートを整備							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内に在住する外国人の増加に対応し、在住外国人も地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会を実現するために、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 補助金 776千円（全体事業費1,552千円、補助率1/2）</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>①医療通訳ボランティア派遣事業 医療通訳ボランティアを登録し、依頼に応じて派遣する。</p> <p>②医療通訳ボランティアに対するフォローアップ講座開催 平成19年度から実施している医療通訳ボランティア養成講座により養成された約50名の医療通訳ボランティアに対し、言語及び医療の専門知識、対人援助能力などの更なる資質向上を目指したフォローアップ講座を実施する。</p> <p>③異文化理解を促進する「国際交流フェスティバル」の支援 県内3地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルについて、異文化理解を促進する観点から支援する。</p> <p>④民間国際交流団体等への出前講座の実施 民間団体などが実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発を図るための講座を開催する。</p>								
自治体職員協力交流事業	7,107	7,107	0				7,107	
トータルコスト	8,721千円（前年度：8,764千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	行政研修員受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
<p>本県友好交流先である海外自治体（韓国江原道、中国吉林省）の職員を行政研修員として受け入れるために要する経費</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7030)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
ブラジル交流促進事業	11,805	11,397	408			1,586	10,219	
トータルコスト	16,646千円 (前年度: 14,711千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 11,805千円								
(2) 事業内容								
①研修員受入事業 (長期: 1名、短期: 1名)								
<p>ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における12ヶ月の技術研修の機会を与え、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。</p> <p>また、ブラジルで中堅的立場に就いている元研修生・留学生を対象に、研修成果のフォローアップとして短期間(3ヶ月程度)の再研修を実施し、人的交流の継続を図る。</p>								
②留学生受入事業 (1名)								
<p>ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、12カ月の本県での修学の機会を与え、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。</p>								
③中堅リーダー交流事業 (2名)								
<p>今後の交流の中心的担い手となる中堅リーダーを約2週間派遣し、ブラジル鳥取県人会や当地の民間団体等との交流や意見交換を通じ、民間主体による自立した交流の活性化を図る。</p>								
ブラジル日本語指導員派遣事業	3,366	3,366	0				3,366	
トータルコスト	12,241千円 (前年度: 12,480千円) [正職員: 1.1人]							
主な業務内容	ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
<p>ブラジル・サンパウロ州にある第二アリアンサ移住地(鳥取村)へ日本語指導員(教員)を派遣し、現地での日本語指導及び日本・本県の文化紹介等を行うことにより、ブラジルとの交流や本県の国際化、国際理解教育を推進する。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際交流員等活用事業	75,100	71,218	3,882			〈諸収入〉 313	74,787	
トータルコスト	82,361千円（前年度：78,675千円） [正職員：0.9人、非常勤：14.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用・民間国際交流事業への派遣・研修の企画実施等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
<p>国際交流員を14名配置するために要する経費 （国別内訳） 韓国5名、中国2名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名</p>								
交流ネットワーク活用事業	19,230	18,860	370			〈諸収入〉 7,000	12,230	
トータルコスト	25,684千円（前年度：21,346千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	情報提供業務の委託、県外事務所との連携による全国の県人会（16カ所）や県出身者との連絡調整、市町村が実施する交流事業に対する助言、所管する公益法人に関する指導監督等							
工程表の政策目標(指標)	民間等と連携した戦略的事業の実施等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>海外や県外において鳥取県とゆかりのある外国人や県人会といった交流ネットワークを活用し、効果的な鳥取県情報の発信を行うことにより、交流の活発化を図るもの。</p> <p>2 主な事業の内容</p> <p>(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託 世界鳥取ファンクラブ会員（国際交流員等で鳥取県に一定期間滞在した外国人）等へ鳥取県の最新情報を提供し、居住する世界各地で鳥取県のPRを依頼</p> <p>(2) 市町村、県外県人会等との協働による情報発信 市町村や県人会等とともに県外各地で開催される各種イベントに参加するとともに、県人会等が行う鳥取県のPR活動に対する郷土芸能団等の派遣等を行う</p> <p>(3) 自治体国際化協会の分担金 (財)自治体国際化協会（地域の国際化を推進する地方公共団体の共同組織）が設置する海外事務所の運営費用等に係る分担金</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際関係調整費	20,000	20,000	0				20,000	
トータルコスト	36,136千円（前年度：44,855千円）[正職員：2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援							
事業内容の説明								
環日本海諸国等への各種訪問団派遣、及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するために要する経費								
（廃止）鳥取県吉 林省友好交流15 周年記念事業	0	7,155	△7,155					
トータルコスト	0千円（前年度：9,641千円）							
事業内容の説明								
（廃止）								
（廃止） 海外協力推進事業	0	2,770	△2,770					
トータルコスト	0千円（前年度：4,427千円）							
事業内容の説明								
（廃止）								
（廃止）ロシア沿 海地方における「鳥 取週間」事業	0	3,991	△3,991					
トータルコスト	0千円（前年度：8,134千円）							
事業内容の説明								
（廃止）								
（廃止）地域間交 流サポート事業	0	2,737	△2,737					
トータルコスト	0千円（前年度：22,621千円）							
事業内容の説明								
（廃止）								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

八頭総合事務所県民局（電話：0858-72-3880）

1目 企画総務費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「幸せはこぶ福(29)ロード」推進事業	422	1,172	△750				422	
トータルコスト	4,456千円（前年度5,315千円） [正職員：0.5人]							
主な業務内容	協議会事業の実施、関係団体間の連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	国道29号周辺の集客アップの取り組みを通じた地域の活性化							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」において、広域的な観光振興に係る取り組みを促進し、地域の活性化を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業主体</p> <p>国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会（県は協議会に負担金300千円を拠出）</p> <p>(2) 事業</p> <p>ア 広域的な観光振興に関する事業</p> <p>両県側に共通するテーマ（例：登山）でのイベント、連携した物産販売等</p> <p>イ 情報発信に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：関西（特に姫路、神戸、大阪）、鳥取市等の都市部住民 ・媒体：ホームページ、ラジオ、観光マップ等 								
<p><参考> 国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会の構成団体</p> <p>鳥取県、兵庫県、若桜町、八頭町、兵庫県宍粟市、鳥取河川国道事務所、姫路河川国道事務所、若桜町商工会、八頭町商工会、宍粟市商工会、(財)しそふ森林王国協会、R29活性化委員会</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県民みんなで観光セールス! ようこそとっとり運動推進事業	(19,034) 10,664	(0) 0	(19,034) 10,664			(8,370)	(10,664) 10,664	
トータルコスト	13,084千円 (前年度0千円) (正職員0.3人)							
主な業務内容	協議会の開催、発起イベントの開催、ツール作成、研究委託等							
工程表の作成(指図)	全県をあげたもてなしの向上							

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要
観光立県を推進するため、ようこそようこそ鳥取県観光振興条例に基づき、県民をあげて、ようこそようこそ鳥取県運動を推進する。

2 主な事業内容

(1) 事業費
10,664千円

(2) 事業内容

事業名	金額 (千円)	事業内容
ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会の開催	164	ようこそようこそ鳥取県運動を推進するため、ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会を開催する。
発起イベントの開催	3,000	観光誘客に向けた県民の意識醸成を図るための発起イベントを開催する。
ようこそ運動展開ツールの作成	6,500	ようこそ運動を展開するための展開ツールとして、観光ポスター、のぼり等を作成する。
地域観光活動方策の研究委託	1,000	全国の成功事例の分析等をもとに、本県での観光振興に向けた地域活動の展開策を立案し、研究成果を地域へ還元する。(委託先: 鳥取大学)
※ようこそとっとり・トータルサポートシステム構築促進モデル事業 (緊急雇用創出事業)	(8,370)	来訪者のニーズに関する情報を収集・管理し、地域の関係者と共有を図り、サービス提供の体制をモデル的に構築し、今後の誘客を促進する。(委託事業) ・委託先: 公募により決定 (観光関係団体・NPO等) ・委託内容 ア 地元への来訪者のニーズ等に関する情報の提供 イ 来訪者への域内移動手段の提供 等 ・雇用創出人数 2名

※参考: ようこそようこそ鳥取県観光振興条例 (平成21年7月制定)

(県民運動の推進)

第8条 県民等及び地域行政は、地域における創意工夫を生かした主体的な取組を通じて郷土に誇りと愛着を持ち、観光客に温かな心配りで接すること等により、観光の振興を図り、活力に満ちた地域社会を形成していく取組を県民運動として推進していくよう努めるものとする。

(協議会の設置)

第10条 県民等及び地域行政は、ようこそようこそ鳥取県運動を一体的かつ総合的に推進するため、ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会 (以下「ようこそ協議会」という。) を組織する。

2 ようこそ協議会は、次に掲げる事項を処理する。

- (1) ようこそ運動取組指針の策定及び変更について意見を述べること。
- (2) ようこそ運動取組指針に定める事業の推進に関すること。
- (3) その他本県の観光の振興のために必要な取組に関すること。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 速くなる！ 近くなる！鳥取自動車道開通観光PR強化事業	30,000	0	30,000				30,000	

トータルコスト 31,614千円（前年度0千円） 正職員：0,2人

主な業務内容 業者委託に係るコンペティション等実施・契約事務、委託業者との連絡調整

工程表の策定目標（指標） マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成22年3月に鳥取自動車道（県内区間）が開通することにより、鳥取県が「速くなる！近くなる！」ことを、鳥取県ならではの魅力ある観光資源とあわせて集中的にアピールし、観光客の誘客を図る。

2 主な事業内容

(1) 事業費

30,000千円（委託料）

(2) 事業内容

- ・旅行雑誌や新聞、テレビなど、各種媒体の組み合わせにより、鳥取自動車道開通を契機とした観光情報発信を集中的に展開。
- ・パブリシティ中心による情報発信とし、広告代理店等へコンペティション等により委託。
- ・関西圏・中京圏を重点エリアとし、集中的に情報発信。

【パブリシティの展開例】

区分	展開方法・内容等
関西圏・中京圏	○テレビ番組 6本以上（全国初 2本以上） ○雑誌への記事掲載 8誌以上（全国誌 4誌以上） ○新聞・フリーペーパー 10回以上

3 これまでの取組状況、改善点

NHKで放映される連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」や「山陰海岸世界ジオパークネットワーク」加盟などのホットな話題と併せて情報発信に努める。

＜参考＞

鳥取自動車道（県内区間）開通に併せた取り組み

H22.3月中旬	マスコミキャラバン出発式（観光政策課） マスコミキャラバン（観光政策課・県外本部）
3月下旬	高速道路・加西SA（下り）での鳥取県PR（関西本部） ようこそ鳥取県キャンペーン（名古屋本部）
4月～通年	高速道路SAを活用した鳥取県PR（関西本部）
4月中旬	NHK大阪会館でのイベント（関西本部） 春のふるさとフェア・中日ビル（名古屋本部）
7月	夏祭りフリーマーケット・ドライブイン（名古屋本部）
8月	名古屋城宵まつり（名古屋本部）

※併せて「ゲゲゲのふるさと鳥取県」PRも実施。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7238)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「温泉王国とっとり」緊急対策事業	23,000	0	23,000				23,000	
トータルコスト	27,034千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	情報発信の内容検討、誘客イベントの企画検討及び関係機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内温泉地の入湯客数の減少に歯止めをかけ好転させるため、緊急対策事業を行う。

2 主な事業内容

(1) 宿泊者数増加に向けた情報発信	予算額: 10,000								
<p>個人向けの誘客促進を図るため、国内旅行専門雑誌及び宿泊予約サイトに鳥取県の旬な情報を掲載することにより誘客促進を図る。(対象エリア: 関西及び中四国)</p> <p>○国内旅行専門雑誌 (1回あたり見開き2ページ) <情報発信の時期及びテーマ(案)></p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年4月</td> <td>鳥取自動車道開通</td> <td>平成22年9月</td> <td>ラリーイベント</td> </tr> <tr> <td>平成22年6月</td> <td>ゲゲゲの女房、砂の美術館</td> <td>平成23年1月</td> <td>カニと温泉</td> </tr> </table> <p>○宿泊予約サイト 予約サイトへのバナー広告や会員向けメールマガジンを活用した広告等の実施 →その際、県、宿泊施設、立ち寄り施設の3者が一体となって情報掲載することにより、観光客が「行ってみたいと思うお得感のある旅」を提案していく。</p>		平成22年4月	鳥取自動車道開通	平成22年9月	ラリーイベント	平成22年6月	ゲゲゲの女房、砂の美術館	平成23年1月	カニと温泉
平成22年4月	鳥取自動車道開通	平成22年9月	ラリーイベント						
平成22年6月	ゲゲゲの女房、砂の美術館	平成23年1月	カニと温泉						
(2) ラリーイベントの実施(9月開催)	予算額: 4,000								
<p>宿泊者数の増に結びつくよう、国内旅行専門雑誌とタイアップし、地域周遊型のラリーイベントを温泉地などにおいて実施することにより、周遊性を高め滞在時間の延長を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光案内所、温泉地にラリーポイント場所を明記した地図を配布し、参加者はその地図をもとに温泉地等に隠されたポイントを見つけ出すゲームを実施する。 テーマ: まんがに描かれた温泉地など 									
(3) 温泉地の魅力活用支援事業	予算額: 8,000								
<p>温泉地の新しい魅力を創出し他の温泉地との差別化を図るとともに観光客の満足度向上に繋げようとする取り組みに対し支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉地ごとの取り組み【定額(10箇所): 上限50万円】 複数の温泉地が連携した取り組み【定額(3箇所): 上限100万円】 									
(4) 鳥取温泉学フォーラム(関西)開催事業	予算額: 1,000								
<p>鳥取自動車道の開通による県内観光客数(特に関西地区)の増加と県内温泉地の活性化を図るため、学術面などから、県内の温泉地それぞれの歴史、効能、魅力などを語るフォーラムを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基調講演 「温泉の効能と鳥取の温泉の魅力」(仮題) 講師: 温泉事情に通じた著名人 パネルディスカッション 「県内温泉地の取組と効能」(仮題) 開催場所 大阪市内(予定) 									

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業 〔観光政策課所管〕	15,000	0	15,000				15,000	
(参考) 米子空港愛称PR事業 〔交通政策課所管〕	19,300	0	19,300				19,300	

トータルコスト 16,614千円（前年度0千円）〔正職員：0.2人〕

主な業務内容 補助金交付事務、実施主体との連絡調整等

工程表の取組目標（指標） マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

3月末から9月末のNHK朝の連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放映を機に「ゲゲゲのふるさと鳥取」をテーマとした誘客キャンペーンを展開し、本県の観光振興を図る。

併せて、米子空港の愛称化を図り、全国にアピールすることで観光誘客の促進を通じて米子-東京便、米子-名古屋便の利用促進を図る。

2 主な事業内容

(1) ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業（観光政策課所管）

ゲゲゲのふるさと鳥取をPRし、県外からの誘客増を図るため、期間限定のオリジナル鬼太郎グッズを作成し、県内の観光地を訪れた方にプレゼントする。

ア 手 法：首都圏や中京、近畿圏等で開催されるイベントで記念品引換券付きの「ゲゲゲのふるさと鳥取招待状」を配布し、観光施設等（県内10箇所程度）で引換券とオリジナルグッズを交換
（例）水木しげる記念館、鳥取砂丘、浦富海岸、大山観光案内所、赤瓦等

イ 実施時期：平成22年8～9月

補助金名	ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業補助金
事業実施	(社)鳥取県観光連盟
補助率	10/10
予算額	15,000千円

(2) 米子空港愛称PR事業（参考：交通政策課所管）

米子空港で現在検討が進められている米子鬼太郎空港等の愛称の設定が決定された場合、愛称による案内看板の設置やイベント等によるPRを行う。

区 分	予算額	内 容
ア 米子空港ターミナルビルの愛称看板の設置 （事業実施：米子空港ビル株）	7,000千円	・愛称看板を空港ターミナルビルの玄関側、滑走路側の2か所に設置
イ 道路標識修正 （事業実施：県土整備部）	5,300千円	・県が所管する国・県道等の米子空港案内道路標識の修正
ウ 愛称化記念イベント及びPR （事業実施：交通政策課）	7,000千円	・米子空港で愛称化及び看板設置を記念したイベント実施 ・羽田空港及び中部国際空港で愛称化PRのためのイベント実施 ・愛称化を記念したノベルティグッズプレゼント（「うっとり鳥取キャンペーン」と連動） ・PR用のポスター、チラシの作成
合 計	19,300千円	

3 これまでの取組状況、改善点

NHKで放映される連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」等のホットな話題と併せて情報発信に努める。

〈参考〉

- マスコミへの情報発信については、以下の事業でも実施
- ・「速くなる！近くなる！鳥取自動車道開通観光PR強化事業」
- ・「温泉王国とっとり」緊急対策事業

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(社)鳥取県観光連盟運営費	(92,306) 61,053	(80,587) 66,977	(11,719) △5,924			(31,253)	(61,053) 61,053	

トータルコスト 62,667千円 (前年度70,291千円) [正職員0.2人]

主な業務内容 負担金の交付、連絡調整

工費等の取組目標 (指標) 戦略的な観光情報発信事業、受入態勢の充実事業

※上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

社団法人鳥取県観光連盟の役割、運営費負担のあり方について見直しを行い、その機能の充実を図ることにより、本県の一層の観光振興を図る。

県は、観光連盟に対し、人件費の全額と事業費等の1/2(総額)を負担するほか、ふるさと雇用再生特別基金を活用して着地型旅行商品造成の充実や個人旅行者向けの相談体制等を整備するなど観光誘客に関する取組を強化する。

2 主な事業内容

- ・観光連盟運営費に対する負担金 61,053千円
(別途:ふるさと雇用再生特別基金の活用 31,253千円)

3 これまでの取組状況・改善点

(1) 見直しの背景

- ・全県をあげた観光振興を推進するための県と県観光連盟の役割分担の検討
- ・観光を取り巻く環境の変化への対応
- ・民間会費の減少等による運営費の確保が困難になってきている状況への対応

(2) 見直しの内容

①観光連盟の取組の強化

観光連盟の事業の見直しを図り、事業の選択と集中・強化を図る。

②財源の確保について

観光連盟の人材は鳥取県全体の観光振興を図る基盤であり、人件費について県10/10負担とし、プロモーターの活動費は事務局活動費と負担ルールを統一

	県の負担割合	
	現行	見直し後
事務局人件費	1/2	10/10
事務局活動費・事業費	1/2	1/2
観光プロモーター人件費	10/10	10/10
観光プロモーター活動費	10/10	1/2

③県事業の移管について

次の役割に応じ、観光連盟の体制の状況を見ながら、業務を順次移管

観光連盟の実施業務	県の実施業務
<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な対応が必要な業務 ・民間事業者との連携が必要な業務 ・旅行会社に対するプロモーション活動 ・観光客等と直接的対応を行う業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関するインフラの整備 ・他の行政機関との連携が必要な業務 ・県の信用力が有効な業務 ・観光振興に資する取組に対する支援

(県から県観光連盟への移管業務(予定))

- 平成22年度 もてなし醸成に向けた地域と連携した研修会等の開催
- 平成23年度 旅行者向け観光資料整備業務
- 平成24年度 国際観光業務

※平成22年度の「ふるさと雇用再生特別基金」の活用内容。(観光連盟への委託事業)

事業名	事業額(千円)	事業概要
鳥取県観光情報発信委託事業	13,610	東京アンテナショップでの観光PRや教育旅行用観光資料の作成等(継続・3名雇用)
個人客受入促進事業	13,352	個人旅行者向けの旅行商品の造成・相談体制の整備(新規・2名雇用)
地域観光情報収集事業	4,291	観光事業者や観光プロモーターと連携した誘客体制の充実(新規・1名雇用)

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰文化観光圏整備事業	(18,086) 13,472	(3,000) 3,000	(15,086) 10,472			(4,614)	(13,472) 13,472	

トータルコスト 16,699千円 (前年度7,143千円) [正職員: 0.4人]

主な業務内容 協議会総会等の開催、共通事業の実施、構成団体との連絡調整

工費等の取組目標 (指針) 他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。

※上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県中部から島根県大田市(隠岐を含む)に至る観光地が連携して、2泊3日以上滞留型観光を推進するために、両県の観光関係団体、交通事業者、行政機関等で組織する山陰文化観光圏協議会に対して、事業費の一部を負担する。

併せて、魅力的な事業の実施、効果的な情報発信を実施するためには、各観光地間や異業種間の連携が必要になる。これらの関係者の連携を調整するため事務局の機能強化を図る。

《観光圏の範囲》

鳥取県: 中部5市町、西部9市町村
島根県: 東部8市町、大田市、隠岐3町1村

2 主な事業内容

(1) 事業費

13,472千円 (負担金7,500千円、委託料5,972千円)

(2) 主な事業

ア 鳥取県と島根県及び市町村等と共同で実施する圏域全体に関する事業

鳥取県負担額 3,500千円 (負担先: 島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財 源		
		国	両県	その他
周遊マップ作成	2,000	800	1,200	0
ポータルサイト運営	700	0	700	0
二次交通(バス)マップ改訂	2,000	800	600	600
周遊バス実証運行	4,100	1,640	1,260	1,200
圏域内事業者研修会	800	320	480	0
モニタリング調査	3,800	1,520	2,280	0
PR用ツール作成	1,600	640	480	480
合 計	15,000	5,720	7,000	2,280

イ 市町村観光協会や各温泉旅館組合等、個別の協議会構成員が実施する事業への助成

鳥取県負担額 4,000千円 (負担先: 島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財 源
・着地型旅行商品作り ・さかな食べ歩きマップ作成 ・観光素材集作成 など	20,000 (予定)	両県 4/10 事業主体 6/10

※助成対象: 国庫補助対象期間(平成22年9月まで)を越えるため、補助対象とならない事業で市町村域を越えるもの。

ウ 鳥取県事務局費 鳥取県観光連盟への委託料 5,972千円

事業内容	事業費	財 源
・コーディネーター人件費 ・アドバイザー(非常勤)の配置 ・上記の活動旅費	5,972	鳥取県 10/10

※別途、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、山陰文化観光圏事務局の体制強化を図るため、観光地間や異業種間連携を調整するコーディネーターの事務補助員を鳥取県観光連盟に1名配置する。

3 これまでの取組状況、改善点

平成20年 8月 観光圏協議会設立
10月 国土交通大臣の観光圏第1号認定・滞在型観光を促進するための事業を開始
平成21年 4月 鳥取県事務局設置(コーディネーター配置)
周遊マップ、2次交通(バス)マップの作成やモニタリング調査等を実施しているところ。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

観光政策課 (内線: 7637)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟推進事業	(26,735) 19,185	(12,957) 12,957	(13,778) 6,228	(1,580) 1,580		(7,550) (17,605) 17,605	
トータルコスト	25,639千円 (前年度17,100千円) [正職員: 0.8人, 非常勤職員0.2人]						
主な業務内容	山陰海岸ジオパーク推進協議会への参画、負担金等交付事務、普及・啓発事業の実施						
工程表の概略目標 (備考)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。						

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰海岸ジオパークの、世界ジオパークネットワーク加盟を目指すとともに、ジオパークの取り組みを推進し、京都府、兵庫県、鳥取県の3府県で、広域的に連携した観光振興を目指す。併せて、ジオパークの教育活用、受入れ態勢の整備を図る。

2 主な事業内容

(1) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 4,582千円

協議会で実施する主な事業 (予算額30,000千円)

- ・ボランティアガイド養成講座の実施
- ・ジオパークを活かした調査研究、環境学習の実施
- ・協議会事務局に専門家を配置 など

(2) 県単独事業 14,603千円

(単位: 千円)

事業内容	金額
1 住民等の意識向上に関する事業	
①鳥取市、岩美町の住民及び観光事業者・交通事業者等に対する学習会の開催 (各市町座額4回、現地学習会2回ずつ開催。)	480
②世界ジオパークネットワーク加盟認定時記念事業 (記念フォーラムの開催、新聞特集記事の掲載など)	2,484
③写真展の開催、新聞特集記事の掲載、パンフレット印刷代等	3,300
2 外国人対策に関する事業	
①外国人観光客に対応するため、鳥取砂丘事務所、山陰海岸学習館に計2名の外国人対応ガイド (英語) を採用し配置。 *緊急雇用基金 (別事業) を11カ月分充当し1年間雇用。	688 (8,238)
②外国人向けパンフレット等翻訳経費補助 (観光協会等に対し1/2補助)	250
③通訳ボランティアを対象とした学習会の開催	360
3 ジオツアー (旅行商品、地質観察会、ジオウォーク等) に関する事業	
①県外旅行会社の商品造成担当者に対する説明会を開催 (現地視察含む)	3,020
②小・中学校での地質観察会等に対する支援 (バス代等)	700
③県境を越えたジオウォークに対する補助 (定額補助: 50万円上限)	500
4 受入れ態勢の整備に関する事業	
①鳥取市、岩美町等のジオパークに関する看板製作等に対する補助 (補助率1/2)	500
②自然遊歩道等を記載した散策マップの作成	1,050
5 県外への情報発信に関する事業	
○カルチャーセンター (東京、大阪) で、講座を実施 (現地講座含む)	1,271

※表中 () 書き数値は年間必要額

※別途: 緊急雇用創出事業活用事業

外国人旅行者に対応できるガイドを2名配置 (配置場所: 鳥取砂丘事務所・山陰海岸学習館)

3 これまでの取組状況、改善点

山陰海岸ジオパークについては、平成21年12月1日に世界ジオパークネットワークに対し申請書を提出し、今年5月~10月の間に当ネットワーク委員の現地調査が行われる予定である。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課 (内線: 7637)

1目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「まんが王国とっとり」PR事業	8,342	7,022	1,320				8,342	
トータルコスト	14,796千円 (前年度 13,650千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	事業設計、関係団体との連絡調整、情報発信の推進							
工程表の課題(指標)	まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県は世界的に著名な漫画家を輩出しており、本県の認知度向上やイメージアップに大きく寄与している状況を踏まえ、「まんが王国とっとり」を国内外へ情報発信する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 国内向けの情報発信 (1,503千円)</p> <p>漫画やアニメなどのコンテンツ産業の集積地である首都圏において、以下のような事業を実施することにより、漫画をテーマに本県の認知度向上及びイメージアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」と連携した情報発信の実施 ・妖怪そっくりさんコンテスト入賞者とのマスコミキャラバン <p>(2) 国外向けの情報発信 (5,418千円)</p> <p>台湾の「台北漫画博覧会」及び韓国の「富川(プチョン)国際漫画祝祭」において、漫画をテーマに本県の情報発信を行うとともに、期間中、旅行会社やマスコミ等を訪問し、本県の認知度向上と誘客促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆台湾「台北漫画博覧会」 概 略: 漫画アニメをテーマとした大規模博覧会 時 期: 8月中旬 ◆韓国「富川(プチョン)国際漫画祝祭」 概 略: 韓国国内最大級の漫画アニメをテーマとした大規模博覧会 時 期: 9月中旬 <p>(参考)「まんが王国とっとり」の推進に向けた事業体系</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まんが王国とっとりPR事業(8,342千円)</p> <p>目的: 国内外へまんがを切り口とした情報発信を行い、本県の認知度向上、観光客誘致を図る</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><別事業></p> <p>「2012国際マンガサミット in 鳥取」誘致推進事業(2,395千円)</p> <p>目的: 東アジア他での認知度向上、観光客誘致をさらに進めるため誘致するもの</p> <p>緊急雇用基金の活用 (14,352千円)</p> <p>目的: サミット誘致に向けた取組みを推進するため、新たに2名の職員を雇用(委託)し、体制強化を図る。</p> </div> </div>								
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外での情報発信により、本県の認知度向上につながっている。 ・「富川国際漫画祝祭」への出展を契機として、国際マンガサミット事務局との連携を図ることができた。 ・サミット誘致に向けた取組みを推進するため、緊急雇用基金を活用し、新たに2名の職員を雇用(委託)して、体制強化を図る。 								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課 (内線: 7238)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「2012国際マンガ サミットin鳥取」 誘致推進事業	(16,747) 2,395	(0) 0	(16,747) 2,395			(14,352)	(2,395) 2,395	
トータルコスト	4,815千円 (前年度0千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	関係団体との連絡調整、推進準備会の運営、情報発信ツールの作成							
工程表の政策目標 (指標)	まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり							

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東アジア他での認知度向上、誘客促進を図るため、2012(平成24)年の国際マンガサミット誘致を目指し、そのための取組みを実施する。

2 主な事業内容

(1) 「まんが王国とっとり」推進準備会(仮称)の設置(1,195千円)

国際マンガサミット誘致及び「まんが王国とっとり」の推進母体となる準備会を設置し、マンガサミット関係者の現地招致やサミット誘致に向けた機運醸成の取組みを行う。[設置主体: 鳥取県]

<2012国際マンガサミット誘致に向けたスケジュール等>

時期	実施内容
H21.12	鳥取県での開催案の提出(NPOアジアMANGAサミット運営本部へ)
H22.4	「まんが王国とっとり」推進準備会(仮称)の設置
H22.春頃	国際マンガサミット事務局等の現地招致など
H22.秋頃	国際マンガサミット韓国大会で開催地決定

(2) 情報発信ツールの作成(1,200千円)

「まんが王国とっとり」漫画ロケ地ガイドの英語版、中国語版、ロシア語版の作成を行う。

(韓国語版、台湾語版はH19に作成済)

※別途: 緊急雇用創出事業活用事業

「まんが王国とっとり」の県内へのイメージ浸透に向けた取組みや、推進準備会(仮称)の運営、国際マンガサミット誘致に向けた取組みを実施(2名雇用)

(参考) 国際マンガサミットの概要

国際マンガサミットは、東アジア(日本、韓国、中国、香港、台湾、マレーシア、マカオ、フィリピン)を中心とした多くの漫画家が一堂に集まり、「文化交流」「感動の共有」「著作権」をキーワードに、平成8年から展示会や研究会を実施している。

- 事務局 国際マンガサミット事務局(韓国富川市)
- 日本の窓口 NPOアジアMANGAサミット運営本部(東京)
- サミットの内容
漫画家による国際会議(シンポジウム、パネルディスカッション、代表者会議)
原画展示、アトリエ再現等

「まんが王国とっとり」の推進に向けた事業体系

<別事業>

まんが王国とっとりPR事業(8,342千円)
目的: 国内外へまんがを切り口とした情報発信を行い、本県の認知度向上や観光客誘致を図る。

「2012国際マンガサミットin鳥取」誘致推進事業(2,395千円)
目的: 東アジア他での認知度向上、観光客誘致をさらに進めるため誘致するもの
緊急雇用基金の活用(14,352千円)
目的: サミット誘致に向けた取組みを推進するため、新たに2名の職員を雇用(委託)し、体制強化を図る。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7238)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源			
(新) グリーンツーリズム普及促進事業	500	0	500				500			
トータルコスト	2,920千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.3人]									
主な業務内容	地元との連絡調整、補助金交付事務									
工程表の政策目標(指標)	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する									
事業内容の説明										
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>近年、観光客のニーズが多様化している中で、田舎ぐらしや農業体験、自然体験等のグリーンツーリズムに対する関心が高まっており、県内の受入態勢(体験型メニュー及び受入農家数の増加等)の整備促進を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>○グリーンツーリズム普及促進補助金(500千円)</p> <p>グリーンツーリズムに興味のある農林漁家が、県内先進地域での実地体験・意見交換会を行うことで受入に向けた機運醸成を図るとともにグリーンツーリズムのモデルツアーを実施することにより、県内の親子等にグリーンツーリズムを体験していただき、その素晴らしさを実感していただく。</p> <p>ア) 補助金名 グリーンツーリズム普及促進補助金</p> <p>イ) 補助率 1/2</p> <p>ウ) 補助対象者 グリーンツーリズムに興味のある農林漁家及び地域 グリーンツーリズムの受入団体</p> <p>エ) 補助対象経費 県内先進地域での実地体験、意見交換会等の実施に要する必要な経費 県内の親子、子ども会等がグリーンツーリズム体験を行うに必要な経費</p> <p><庁内若手職員提案事業></p> <p>○GMGT (Good Morning Green Tourism) の推進</p> <p>※GMGTは若手職員サブチームの造語</p> <p>旅館・ホテルの宿泊旅行者(特に40~60歳代)をターゲットにした早朝体験型のグリーンツーリズムを提供し、観光客にとって余裕のある時間帯に気軽に収穫体験等を行っていただく取組み(GMGT)を推進する。</p> <p>GMGTの実施(例)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 6:30 旅館・ホテル発 7:00 現地着 ※朝どれトマト収穫体験 かぶりつき 8:30 ホテル着、朝食 10:00 チェックアウト </td> <td style="width: 50%;"> 8:00 旅館・ホテルで朝食 9:00 チェックアウト 9:30 現地着 ※収穫体験、地引き網等 11:30 現地発 </td> </tr> </table>									6:30 旅館・ホテル発 7:00 現地着 ※朝どれトマト収穫体験 かぶりつき 8:30 ホテル着、朝食 10:00 チェックアウト	8:00 旅館・ホテルで朝食 9:00 チェックアウト 9:30 現地着 ※収穫体験、地引き網等 11:30 現地発
6:30 旅館・ホテル発 7:00 現地着 ※朝どれトマト収穫体験 かぶりつき 8:30 ホテル着、朝食 10:00 チェックアウト	8:00 旅館・ホテルで朝食 9:00 チェックアウト 9:30 現地着 ※収穫体験、地引き網等 11:30 現地発									

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

2 目 計画調査費

観光政策課（内線：7638）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) トットリノススメ・民芸魅力発信事業	3,416	0	3,416				3,416	
トータルコスト	5,030千円（前年度0千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	展示会準備、講演会企画・開催、事業者との連絡調整、委託契約事務							
工程表の政策目標（備考）	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県民工芸品を観光情報と一体化して県外セレクトショップ等において広く紹介することにより、県外からの観光誘客を図るとともに、若手製作者の作品を積極的に取り上げ、新製品・後継者育成にもつなげていく。

（※「セレクトショップ」：ひとつのブランドの商品だけではなく、店のセンスで選んで売る提案型店舗の総称。）

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) 展示会・体験教室の開催	2,290	<p>若者に人気のある県外のセレクトショップやカフェにおいて展示会や体験教室を開催し、本県の伝統的な民工芸品のほか、若い世代に人気のある新しい民工芸品の提案を通じ、本県の観光PRも行う。</p> <p>[開催場所]（4ヶ所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、大阪等国内のセレクトショップ3箇所 ・韓国ソウルのカフェ・ソース（鳥取本店が昨年出店） <p>[日程]</p> <p>7月～11月にかけて、各箇所1週間程度、合計4箇所</p> <p>[内容]</p> <p>本県民工芸品の展示及び制作体験教室の開催</p>
(2) 講演会の開催	1,126	<p>デザイン・建築・文化等の情報発信地で、人気イラストレーターを講師にむかえ、本県の民工芸品や観光を紹介する講演会及び展示を行い、本県の観光PRも行う。</p> <p>[開催場所（予定）]</p> <p>リビングデザインセンター（東京都西新宿）</p> <p>（※デザイン、建築、文化などの総合情報発信の拠点となっている。）</p> <p>[開催日程]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会：11月頃 ・展示会会期：講演会開催日を含めて1週間程度 <p>[講師（予定）]</p> <p>安西水丸（あんざいみずまる）氏</p> <p>〔※イラストレーター、デザイナー。従来から本県の民工芸品を日常的に愛用しており、自身のエッセイ、雑誌連載等で本県を多数紹介。〕</p>

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7221)→事業実施:国際観光推進課
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源			備考
				国庫支出金	起債	その他	
世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業(外国人観光客受入向上推進事業)	(32,069) (30,127)	(16,292) (16,292)	(15,777) (13,835)			(1,954) (諸収入) (12)	(30,115) (30,115)
トータルコスト	38,195千円(前年度22,920千円)[正職員:1.0人、非常勤職員:1.0人]						
主な業務内容	アクションプログラム推進の連絡調整・会議開催等の事務、民間活動支援・受入態勢の整備に係る事務、外国人向け観光資料作成事務、補助金交付事務、契約事務等						
工程表の残目標(備考)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する						

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人観光客の満足度を上げ、訪問客を持続的に増やすため、外国人観光客の誘致及び受入に必要な取組(インフラ整備、人材育成など)を官民協働で進める。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容
鳥取県国際観光アクションプログラムの推進	1,888	○アクションプログラム推進委員会(仮称)の開催 ○有識者・県内業界等からの意見聴取 ○外国人観光客満足度調査の実施
民間活動の支援	9,990	
研修会等の開催	990	観光施設・宿泊施設関係者などを対象にした「もてなし研修会」等の開催
インバウンド活動支援補助金	9,000	
【一般分 7,000千円】		
交付先	民間事業者・民間団体	
対象経費	プロモーション経費、外国語版ホームページ・パンフレット作成経費、インバウンド研修会開催経費、クレジットカード対応機器経費、両替所整備経費、二次交通運行経費 など	
補助率	民間団体2/3、単独企業1/2	
補助限度額	500千円	
【(新)韓国ホームショッピング分 2,000千円】		
交付先	民間事業者(宿泊施設等)	
対象経費	ホームショッピング旅行商品の造成、番組の制作・放映等に要する経費	
補助率	1/2	
補助限度額	1,000千円	
外国人観光客受入態勢の整備	4,108	○(新)米子空港ビル観光案内所への韓国語案内スタッフ配置(1名) ○(新)国際観光サポーター(ボランティア)による通訳・翻訳の支援活動 ○(新)観光施設の外国人観光客入場料減免PRチラシの作成
外国人観光客向け資料・ポスターの作成	11,719	○(新)個人客用観光マップ(台湾語、ロシア語)、観光宣伝ポスター(4種類)の作成 ○観光パンフレット(英語、韓国語、中国語、台湾語、ロシア語、タイ語)の増刷
非常勤職員(国際観光担当)の配置	2,422	1名
合計	30,127	

※別途緊急雇用基金を活用し、外国語(英語・韓国語)の対応が可能な調査員(1名)により、本県を訪れた外国人観光客の満足度調査を行う

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県国際観光アクションプログラムの策定に向けて、国際観光推進の課題抽出や対応策等の検討を行い、併せて、鳥取県インバウンド活動支援補助金の創設やもてなし研修会の開催等による民間事業者への支援を行った。今後は、アクションプログラムの推進により、官民協働による計画的・戦略的な外国人観光客の誘客を行うとともに、国際観光サポーターによる通訳等の支援活動を拡充するなど、外国人観光客受入態勢の向上を図っていく。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客誘致推進事業）	(88,508) (58,300)	(55,120) (55,120)	(33,388) (3,180)			(30,208) (58,300) (58,300)	
トータルコスト	94,606千円（前年度98,202千円）[正職員：4.5人、非常勤職員：1.0人]						
主な業務内容	諸外国での広報宣伝、旅行商品の造成・販売促進支援、海外プロモーションに必要な人員配置、国際チャーター便誘致、隣県との広域連携事業						
工程表の政策目標（指標）	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。						

※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

諸外国から鳥取県を訪問する観光客を増やすことにより、県内観光消費額を増加させ、もって本県の観光産業の振興及び、米子ソウル便、環日本海定期貨客船などの国際交通インフラの維持・発展につなげる。

2 主な事業内容

区分	予算額	内容
① 諸外国での観光情報発信		
広報宣伝	22,300	・韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の新聞、雑誌、テレビへの広告掲載料等 (新) ロシアブロガーの招へい経費
旅行会社等による視察ツアー実施	5,330	・旅行商品の造成、観光宣伝のための、韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の旅行会社、メディア等の招へい経費
② 旅行商品の造成・販売促進等への支援	8,000	(新) 外国人観光客誘致対策事業補助金 鳥根県と共同で、米子ソウル便及びDBS貨客船を利用した旅行商品を造成・販売する旅行会社に対してバス代を支援 <山陰国際観光協議会への助成>
③ 海外プロモーションに必要な人員配置	4,099	(新) 観光客誘致ソウル駐在員設置委託料
④ 国際チャーター便の誘致	1,250	・運航会社とタイアップした広報宣伝経費
⑤ 隣県等との広域連携事業	11,980	(新) 中国地区広域観光検討部会への負担金 (新) 関西国際空港内観光案内所整備運営協議会への負担金（関空から本県へ観光客を誘導） ・香港観光客誘致事業負担金（岡山県と連携） ・山陰国際観光協議会への負担金 ・その他、中国地区各県や香川県、京都府、兵庫県と連携した諸外国への広報宣伝
⑥ 事務費等	5,341	・職員旅費等
合計	58,300	

※(別途)緊急雇用創出事業活用事業

①外国人観光客誘致対策事業	外国旅行会社等の視察ツアーの案内、各種観光資料やモデルルート企画・作成・翻訳ができる推進員を民間企業・団体に委託して配置(1名)<ロシア語対応ができる者>
②新たな国際観光市場へのプロモーション強化事業	新規市場(ロシア・東アジア・(韓国・台湾を除く))への観光プロモーションを行うスタッフを配置(1名)<観光政策課内>
③世界に通用する“とっとり”国際観光資源発掘・情報発信	外国からの個人観光客を増やすため、地域素材の発掘、情報発信、旅行商品造成・販売まで一体的に行う事業を民間委託(新規雇用3人)

3 これまでの取組状況・改善点

- (1) 韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等における新聞広告・新聞雑誌記事・テレビ番組や博覧会出展などによる広報宣伝。新年度は各国での認知度向上のための取組を強化
- (2) 外国人観光客誘致対策事業補助金による米子ソウル便を利用した誘客促進
新年度は、鳥根県と経費を負担し合いながら実施するとともに、DBS貨客船も対象に追加
- (3) 旅行商品化・情報発信のための旅行会社・メディア等の招請
- (4) 周辺府県との連携した中国や香港、台湾などからの誘客促進。新年度は、中国5県での取組を強化するとともに、関西国際空港内に観光案内機能を設置するなど、誘客促進を図る。等

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)国境を越えた広域観光推進事業(韓国江原道との連携事業)	(2,549)	(0)	(2,549)				(2,549)	
トータルコスト	4,163千円(前年度0千円) [正職員:0, 2人]							
主な業務内容	DBS国際貨客船を利用し県内宿泊を伴う修学旅行のモデルコース及びPR資料の作成、県外及び韓国の旅行会社及び学校関係者への売り込み、修学旅行に係るバス代支援補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 昨年6月の環日本海航路(DBS国際定期貨客船)就航や、今年3月の鳥取自動車道(県内区間)の開通により、鳥取県は「北東アジアのゲートウェイ」としての機能がさらに充実したところ。これらの交通インフラの観光面での活用を一層進めるため、韓国江原道をはじめとする海外諸地域の関係機関と連携した「新しい観光ルートの開発」「観光情報の発信」「旅行会社等への働きかけ」を積極的に行い、両地域の滞在客増加及び環日本海航路の利用促進を図る。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
項目	事業費	内 容						
韓国江原道との共同モデルコース作成	740	<ul style="list-style-type: none"> DBS国際定期貨客船を利用した韓国江原道と鳥取県(又は山陰)がセットになった観光モデルコース開発(韓国江原道との共同作業) 同モデルコースのPR資料作成(韓国江原道との共同制作) *重点ターゲット…日韓双方の修学旅行・教育旅行 						
モデルコースの販売促進	809	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社、学校、団体等へのモデルコース(PR資料)配布 日韓双方の旅行会社担当者や学校関係者を対象にした視察旅行の実施(招致人数)延べ30名程度 						
修学旅行・教育旅行への支援	1,000	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行、教育旅行が催行された場合のバス代支援(支援対象)鳥取県内での宿泊を伴う観光の移動に要するバス代(支援内容)バス1台につき5万円を上限として実費を旅行会社へ支給 *韓国江原道内では、別途江原道の支援制度を適用 						
合計	2,549							
3 これまでの取組状況 DBS国際定期貨客船就航後、日韓双方の旅行会社に旅行商品造成の働きかけを行った結果、双方で旅行商品が造成され、一定の送客実績につながった。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	174,525	161,782	12,743				174,525	
事業の概要 一般職員25名分の人件費								
観光振興費	17,092	14,947	2,145	1,566		(使手料) 77	15,449	
トータルコスト	47,750千円（前年度49,745千円）〔正職員：3,8人〕							
主な業務内容	他府県や市町村等との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標（指標）	—							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 他府県や市町村等との連絡調整等を行い、本県観光施策の企画立案、推進を図る。 2 主な事業内容 (1) 観光指導奨励費 14,401千円 他府県や市町村等との連絡調整を行うとともに、旅行業者の登録業務及び指導育成を行う。 (2) 観光客動態調査事業 2,691千円 観光施策立案の基礎資料とするため、本県への観光客数及びその出発地、観光の動機などについて統計調査を行う。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	7,350	5,850	1,500				7,350	
トータルコスト	10,578千円 (前年度9,164千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	広域的な誘客活動、連絡調整等							
工費の概算 (概算)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

より効果的な観光誘客を図るため、他府県の観光関係団体等と圏域を越えた連携協力を行い、それぞれの魅力を生かした一体的な観光地作りや効率的な情報発信を行う。

2 主な事業内容

区分	予算額 (千円)	内 容
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	岡山県と連携して、広報宣伝活用等の誘客対策を実施する。 総事業費4,000千円 (本県負担: 2,000千円)
京都・兵庫・鳥取三府県連携誘客事業	1,500	三府県の広域観光ルート情報を掲載する周遊マップを作成する。また、韓国・台湾のマスコミを中心に、マスコミ視察ツアーを実施する。 総事業費4,500千円 (本県負担: 1,500千円)
因幡・但馬広域観光キャンペーン推進事業	500	鳥取県、兵庫県、関係市町、民間が連携して、広報宣伝等の誘客対策を実施する。 総事業費2,000千円 (本県負担: 500千円)
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が、団体に貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部をひょうごツーリズム協会を通じて助成する。
県推進事務費	2,750	広域連携に向けた推進事務費 (社) 日本観光協会に対する拠出金等

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7238）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「ディスカバーウエスト」中国五県連携観光振興事業	5,000	5,000	0				5,000	
トータルコスト	7,420千円（前年度7,486千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	JR西日本等と連携した誘客対策							
工程表の残目録（備考）	観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 首都圏をはじめとする大都市圏から中国地方への誘客を拡大するため、中国5県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」（平成18年5月設立）を通して、観光情報の発信等を行う。</p> <p>2 主な事業内容 （1）事業費 5,000千円（負担金） （2）事業内容 旅行会社現地説明会の開催 中国5県広域モデルルート集作成等</p>								
観光地環境整備事業	494	2,094	△1,600				494	
トータルコスト	1,301千円（前年度2,923千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	観光案内看板の維持管理等							
工程表の残目録（備考）	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 観光客の周遊性と利便性を向上させるために、観光案内看板の情報更新、修繕を行う。</p> <p>2 主な事業内容 （1）事業費 494千円（標準事務費） （2）事業内容 高速道路の開通状況や新たな観光資源等に対応するため、情報の更新を行う。（H22年度は18基程度更新予定） ※観光案内看板の情報更新を行うための経費はH21年度（2月補正）で前倒し計上 ※観光案内看板の設置状況：38基（県内30基、県外（高速道路）8基）</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光二次交通整備 対策事業	2,934	1,722	1,212				2,934	
トータルコスト	4,548千円 (前年度 4,208千円) [正職員0,2人]							
主な業務内容	補助金交付事務、バスマップの作成、関係機関との連絡調整							
工程表の取組(指図)	全県あげてのもてなしの向上に努めるとともに、観光二次交通の充実を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 旅行形態が変化し、個人旅行が主流になってきている中、幹線交通拠点から観光地までの二次交通の整備が必要となってきたことから、県内の観光二次交通の整備を図り、観光立県を推進する。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費								
2,934千円								
(2) 事業内容								
事業名	金額(千円)	事業内容						
バス旅マップ作成事業	333	観光二次交通として、路線バスの活用を促進するため、路線バスの時刻、路線図を掲載した冊子を作成・配布する。 ・作成部数10,000部						
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス運行支援事業	1,100	世界ジオパークネットワーク加盟をめざす鳥取砂丘・浦富海岸を周遊する観光ボンネットバスの運行を支援する。 ・運行期間 5月1日～10月31日の土日祝(予定) ・補助対象者 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会 ・補助率 1/3						
(新)鳥取空港-鳥取砂丘間乗合ジャンボタクシー運行支援事業	1,120	鳥取空港と鳥取砂丘を直結する乗合ジャンボタクシーの運行について、鳥取市と連携し、必要な経費を支援する。 ・運行期間 4月～3月までの土日祝(夏休み等の期間は毎日運行) ・運行時間 鳥取空港発 第1便、第2便に対応 鳥取砂丘発 第3便、第4便に対応 ・支援内容 (運行支援) 1運行当たり必要な最低売上げ額3千円から売上げ額を差引いた額を支援(鳥取県1/2、鳥取市1/2) (広報支援) 広報費の支援(鳥取県1/2、鳥取市1/2) ・補助対象 鳥取ハイヤー共同組合						
事務費	381							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光資料整備活用事業	31,870	33,432	△1,562			(諸収入) 9	31,861	
トータルコスト	42,358千円 (前年度45,860千円) [正職員: 1.3人、非常勤職員: 1.0人]							
主な業務内容	観光資料の整備と観光イベント等でのPR							
工程表の政策目標 (指標)	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 積極的に本県の観光PRを推進していくため、本県の観光魅力を満載した観光パンフレット、ガイドマップ、その他の観光資料の整備及び観光イベント等への参加を行う。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	内容						
観光資料の作成配付	15,400	・観光パンフレット、ガイドマップ等の作成及び配布						
観光イベント等への参加	775	・観光イベント等に、とっとり観光親善大使を派遣						
観光情報ステーションの維持管理	458	・観光情報ステーション (道の駅、ガソリンスタンド等) の維持管理						
Webサイトマップの維持管理	800	・Webサイトマップの維持管理						
トリピー着ぐるみの維持管理	700	・県内外でのイベントの際の着ぐるみの輸送料、着ぐるみの修繕料等						
事務費	13,737							
観光情報提供事業	27,112	27,108	4			(諸収入) 12	27,100	
トータルコスト	36,794千円 (前年度38,707千円) [正職員: 1.2人、非常勤職員1.0人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標 (指標)	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取ならではの魅力を全国にアピールするため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の観光魅力を県外へ情報発信する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	内容						
マスコミへの情報提供	1,000	・新聞、雑誌等の読者プレゼント ・観光情報の収集、整理、加工						
マスコミの取材受け入れ	7,900	・取材支援、新聞雑誌等の編集タイアップ、テレビ番組誘致						
パブリシティ会社による情報発信	7,000	・パブリシティ会社を通じた取材招致						
新しい地域魅力のPR	4,800	・雑誌等への記事掲載						
ホームページの運営	2,472	・非常勤職員報酬等						
事務費	3,940							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7238）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	11,538	10,538	1,000				11,538	
トータルコスト	18,799千円（前年度17,995千円）〔正職員：0.9人〕							
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標（指標）	新たな魅力づくりに努め、本県ならではの観光魅力を形成する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県にとって重要な観光資源である温泉地の魅力向上のため、近隣エリア内の温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、イベント等に対して助成する。								
2 主な事業内容								
	区分	予算額	内容					
	いなば温泉郷支援事業 〔総事業費 3,930〕	1,310	いなば温泉郷協議会が行う情報発信、受地対策、 接遇向上等の事業を支援する。					
	とっとり梨の花温泉郷支援事業 〔総事業費 12,000〕	4,000	とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会が行う雑誌 広告、マスコミ招致等の事業を支援する。					
	皆生温泉支援事業 〔総事業費 15,000〕	5,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う滞在 型健康保養プログラム事業等を支援する。					
	（臨）皆生温泉開湯110周年記念事 業〔総事業費 3,000〕	1,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う皆生 温泉開湯110周年記念事業を支援する。					
	事務費	228						
（※負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3）								
魅力づくり支援事業	188	1,955	△1,767				188	
トータルコスト	1,802千円（前年度1,024千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	事業設計、市町村や関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	受入体制の充実							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内には、各地でボランティアガイドの組織の連携を図り、切磋琢磨することによる資質向上やお互いの地域を観光客に紹介しあうこと等による県内滞在時間の延長等を図る。								
2 主な事業内容 （1）内容 ボランティアガイドの交流会の開催 （2）事業費 188千円（講師派遣の謝金、旅費） （交流会の内容） ・県内各ボランティアガイドクラブの取組報告 ・県外の先進事例の取組紹介 ・懇親会の開催 等								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
心に残る映画ロケ推進事業	1,881	2,841	△960				1,881																
トータルコスト	2,688千円 (前年度5,327千円) [正職員: 0.1人]																						
主な業務内容	補助金交付事務																						
工程表の政策目標 (指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨上げ、まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり等に努め、本県ならではの観光魅力を形成し、他地域との差別化を図る。																						
事業内容の説明																							
1 事業の目的・概要 映画、テレビドラマ等により本県の魅力を県内外へ情報発信するため、NPO法人とっとりフィルムコミッションの活動に対して支援を行う。																							
2 主な事業内容 (単位: 千円)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営及び誘致活動への支援</td> <td>300</td> <td>・運営及びロケ誘致活動に係る経費を支援</td> </tr> <tr> <td>ロケ支援への助成金</td> <td>700</td> <td>・映画・連続ドラマ 1番組当たり200千円 ・短編ドラマ・番組 1番組当たり100千円 ・テレビCM・雑誌 1番組当たり50千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>881</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,881</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	内 容	運営及び誘致活動への支援	300	・運営及びロケ誘致活動に係る経費を支援	ロケ支援への助成金	700	・映画・連続ドラマ 1番組当たり200千円 ・短編ドラマ・番組 1番組当たり100千円 ・テレビCM・雑誌 1番組当たり50千円	事務費	881		合 計	1,881	
区 分	予算額	内 容																					
運営及び誘致活動への支援	300	・運営及びロケ誘致活動に係る経費を支援																					
ロケ支援への助成金	700	・映画・連続ドラマ 1番組当たり200千円 ・短編ドラマ・番組 1番組当たり100千円 ・テレビCM・雑誌 1番組当たり50千円																					
事務費	881																						
合 計	1,881																						
コンベンション誘致促進事業	(45,034) 40,166	(40,166) 40,166	(4,868) 0			(4,868)	(40,166) 40,166																
トータルコスト	41,780千円 (前年度 41,823千円) [正職員: 0.2人]																						
主な業務内容	財団法人への指導調整、4市との事業計画・予算関係等の協議・調整、交付金・補助金交付事務																						
工程表の政策目標 (指標)	—																						
※上段 () 内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む																							
事業内容の説明																							
1 事業の目的・概要 財団法人とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。																							
2 主な事業内容																							
(1) 運営費交付金																							
(財) とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。																							
<table border="1"> <tr> <td>負担率</td> <td>1/2 (県、4市)</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>26,130千円</td> </tr> </table>									負担率	1/2 (県、4市)	予算額	26,130千円											
負担率	1/2 (県、4市)																						
予算額	26,130千円																						
(2) コンベンション開催助成費補助金																							
コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。																							
<table border="1"> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2 (県、開催市町村)</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>13,800千円</td> </tr> </table>									補助率	1/2 (県、開催市町村)	予算額	13,800千円											
補助率	1/2 (県、開催市町村)																						
予算額	13,800千円																						
※平成22年度の「ふるさと雇用再生特別基金」活用内容																							
・県内主催者のコンベンション誘致・開催業務の代行等による支援の充実 (企画書の作成・助言、関係先との連絡調整等)																							
・雇用創出人数: 1人																							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
3目 金融対策費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他 (貸付金 元利収入)	
観光開発促進資金融資制度	82,886	83,528	△642			82,886	
トータルコスト	82,886千円 (前年度83,528千円)						
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等						
工程表の取組目標 (指標)	-						

事業内容の説明

- 1 事業の目的・概要
県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設の整備を行う者に対し、その必要な資金の一部を融資することにより、観光振興を図る。
- 2 主な事業内容
金融基金に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。
 - ・貸付金 82,886千円
 - ※ 平成18年度からの新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金 (経済・雇用政策総室所管)」の対応に移行しており、本事業分は既融資分 (13件) に係る経費である。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課 (内線: 7238)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地域観光資源磨き 上げ支援事業	325	325	0				325	
トータルコスト	16,461千円 (前年度16,895千円) [正職員: 2.0人]							
主な業務内容	市町村、観光事業者等への助言							
工程表の政策目標(指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨き上げ							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>観光地振興(地域づくり)や受け地整備(商品化)を行う実施主体(市町村観光協会や各種団体等)に対して、観光客誘致のためのノウハウや旅行会社に受け入れられやすい整備の仕方等を県に設置した観光コーディネーターが中心となりアドバイスを実施する。 観光コーディネーターが、企画段階から積極的に地域に入り込み、市町村・県民局と調整しながら事業主体に対して助言を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 325千円(標準事務費)</p> <p>(2) 市町村等への助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の持続可能な取組みの手法 ・観光客誘致のための売り込み方 ・旅行会社に受け入れられやすい整備方法 など <p>(3) 平成21年度の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉線廃線跡「桜並木」ウォーク ・若桜鉄道夜桜列車 ・マグロ市場見学ツアー ・無声映画「三朝小唄」を楽しむ夕べ 								
観光メニューオー ディション事業	3,320	3,344	△24				3,320	
トータルコスト	8,161千円 (前年度8,315千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	審査会の開催、補助金交付事務、旅行商品化に向けた助言							
工程表の政策目標(指標)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨き上げ							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内の埋もれた観光素材を旅行商品化するため、県民や団体から新たな観光メニューを募集し、その磨き上げを旅のプロとともに支援する。</p> <p><事業の流れ></p> <p>①県民提案の募集 → ②審査会の実施(採択事業の決定) → ③事業内容の検討会の実施(商品化のための相談、アドバイス) → ④観光メニューの試験実施 → ⑤旅行商品化への取り組み(PR等) → ⑥観光メニューの旅行商品化</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 観光メニュー実施支援補助金(3,000千円)</p> <p>ア 補助対象: 個人、団体等</p> <p>イ 補助金の上限: 1,000千円</p> <p>ウ 補助率: 1/2</p> <p>(2) 事業内容検討会の開催(320千円)</p> <p>上記補助制度を活用する個人、団体に対して、旅行会社の商品造成担当者等による旅行商品化に向けた相談や助言を行う。</p> <p>[参考]</p> <p>平成21年度採択件数 5事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マクロビ手作りランチ」(玄米や自然塩等を使ったバランスの取れた食事の提供) 「大山正面山岳古道体験ツアー」(大山の山岳古道の散策コース) 「大山山麓サイクリングプロジェクト」(大山からのダウンヒルサイクリングの実施) 「酒蔵見学の整備」(妖怪を活用したオリジナルラベルの作成) 「智頭町芦津 癒しの森の沢登り」(シャワークライミングの実施) 								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7238)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘検定実施事業	400	600	△200				400	
トータルコスト	2,014千円 (前年度2,257千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	負担金交付事務及び検定テキスト作成に関する連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	もてなし意識の普及・啓発							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

昨年4月に「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」が制定され、県民の貴重な財産である鳥取砂丘の環境保全と活用が注目されている中、県内外の人々に鳥取砂丘の魅力を知っていただくことを目的に実施される鳥取砂丘検定の取組みに対して、負担金を交付する。

2 主な事業内容

(1) 実施主体 鳥取砂丘検定実行委員会

(構成団体) 鳥取市、鳥取市観光協会、鳥取商工会議所、鳥取青年会議所、鳥取大砂丘観光協会、自然公園財団鳥取支部、岩美町観光協会、鳥取県等

(2) 全体事業費

(単位: 千円)

区分	事業費
実行委員会開催費、問題作成委員会開催費	300
検定試験等実施経費	840
合計	1,140
財源内訳	
鳥取県	400
鳥取市	400
検定受験料収入等	340

※ 事業費の負担割合は県・鳥取市各1/2

(参考) 第1回鳥取砂丘検定の実施状況

- ・試験日 平成21年9月27日(日)
- ・試験会場 鳥取、東京、名古屋、大阪
- ・受験者数 245名(鳥取県内170名、鳥取県外75名)
- ・合格者数 180名

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

観光政策課 (内線: 7638)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう! 県民の歴史資産「三徳山」調査活用推進事業	5,006	4,297	709				5,006	
トータルコスト	9,040千円 (前年度12,832千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金業務等							
工程表の残戻目標(略)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨上げ、まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり等に努め、本県ならではの観光魅力を形成し、他地域との差別化を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取県を代表する文化財である三徳山について、世界遺産登録を視野に入れながら、地元関係者と連携し、調査研究を進めると共に、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。								
2 主な事業内容								
(1) 事業費 5,006千円								
(2) 事業内容								
ア 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会(調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会)で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進								
イ 情報発信・機運醸成の推進(情報発信部会-事務局:鳥取県中部総合事務所県民局)								
・講演会の開催 ・文化資産学習会開催支援事業 補助対象事業: 住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象事業者: 公民館、住民グループ等 補助金額: 定額(上限5万円) 8団体を予定								
ウ 調査研究の推進(調査研究部会-事務局:鳥取県教育委員会文化財課)								
・鳥取県中部における中世寺院に関する研究 ・国内の類似資産との比較調査研究 ・主題の検討 ・三徳山の自然環境調査(委託先:鳥取大学) ・三朝町実施の調査事業の支援(全体事業費4,500千円(県補助率1/3)) 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査								
エ 保存管理活用の推進(保存管理活用部会-事務局:三朝町教育委員会)								
・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援(有識者等の招聘等)								
(参考) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立 平成16年3月 会長 三朝町長 構成 中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

観光政策課 (内線: 7638)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
はばたけ、とっとり！文化等交流活動支援事業	1,820	1,820	0				1,820	
トータルコスト	2,627千円 (前年度2,649千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(期間)	地域に埋もれた観光素材の発掘・磨上げ、まんが・映画等を活用した新たな魅力づくり等に努め、本県ならではの観光魅力を形成し、他地域との差別化を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内の自然や文化等を活用し、県内外から参加者を募る情報発信性の高い事業に対して支援することにより、参加者に地域の良さを体感する機会を提供するとともに、参加者が地元ボランティア、地域住民との交流を図ることによって、今後の誘客に繋げていく。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 第32回桜杯争奪相撲選手権大会 (400千円) 郷土が生んだ横綱・琴桜(故先代佐渡ヶ嶽親方)の偉業を顕彰するとともに、全国から小学生力士を迎え、国技である相撲を通して青少年の育成と地域の活性化を図る。</p> <p>(2) 第10回日本海未来ウオーク (500千円) 県中部地区の景勝地を巡るウオーキング大会を通じて、健康増進と地域の活性化を図るとともに、県内外からの参加者、ボランティア等との交流により、鳥取県の情報発信を行う。</p> <p>(3) 第10回鳥取砂丘ジュニアデュアスロン全国大会 (800千円) 全国から参加する子どもたちが鳥取砂丘で行われるデュアスロン競技を通じ、自然の雄大さを体感するとともに参加者同士の交流を深める。</p> <p>(4) 事務費 (120千円)</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
2 目 計画調査費

観光政策課 (内線: 7638)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民芸 振興事業	2,150	2,249	△99				2,150	
トータルコスト	18,286千円 (前年度18,819千円) [正職員: 2.0人]							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営、情報収集等							
工程表の残業目標 (指し)	マスコミへの露出アップや観光キャンペーンの展開等により、本県の知名度向上を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木竹、玩具等の民芸の持続可能な自立を達成するため、情報発信、愛用促進、展示、人材育成、記録保存、マスコミ誘致等の事業を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 情報発信事業	299	・とりネット公式サイトホームページ「とっとりの手仕事」を運営し、県内民芸に係る情報を広く発信する。 ・県内外の民芸品販売箇所をPRする「民芸マップ」を作成し、頒布する。 ・一般県民を対象としたアンケート・プレゼント企画を実施し、本県の民芸品の魅力を広く知っていただく。
(2) 愛用促進事業	25	民芸品を積極的に記念品・調度品等に利用するため、民芸品情報や活用案・事例集が一覧できるデータベース「つかいもんデータベース」を運用し、庁内での愛用を促進する。
(3) 民芸展示事業	198	高校・大学生等の若年層対象の「パネル巡回展示事業」と、広く県民を対象とした「公共施設展示事業」を実施し、民芸に対する理解と関心を深めるための触れ合いの場を創出する。
(4) 人材交流・育成事業	173	作り手の交流と情報収集のため、伝統工芸又はデザイン分野の講師を招聘して研修会を開催する。
(5) 記録保存事業	725	後継者不足の民芸の制作工程を映像で残し、公開することで活性化を図るため、「民芸技術デジタルアーカイブ化事業」を実施する。
(6) マスコミ誘致事業	730	本県の民芸品の魅力を発信するとともに、より一層高めるため専門誌、生活情報誌等を誘致する。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7421)→事業実施:文化政策課
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使手料)	訳 一般財源	
鳥取県立米子コンベンションセンター管理費	(91,508)	(91,375)	(133)			(383)	(91,125)	
トータルコスト	93,122千円(前年度95,518千円) 正職員:0.2人							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係市との協議調整							
工程表の稼働目標(指標)	-							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 米子コンベンションセンターの管理運営を指定管理者に行わせるとともに、必要な修繕・備品購入を行い、利用者の利便性向上、質的環境の整備を図る。 ○指定管理者 財団法人とっとりコンベンションビューロー(米子市末広町294) ○指定管理期間 平成21年4月1日～26年3月31日(5年間)</p> <p>2 主な事業内容 管理運営委託料 91,508千円</p>								
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	(114,319)	(115,419)	(△1,100)			(使手料) (113)	(114,206)	
トータルコスト	115,933千円(前年度119,562千円) 正職員:0.2人							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、修繕事務等							
工程表の稼働目標(指標)	-							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 夢みなとタワーの管理運営を指定管理者に行わせるとともに、必要な修繕を行い、利用者の利便性向上、質的環境の整備を図る。 ○指定管理者 財団法人鳥取県観光事業団(鳥取市栄町606) ○指定管理期間 平成21年4月1日～26年3月31日(5年間)</p> <p>2 主な事業内容 管理運営委託料 114,210千円</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光政策課(内線:7310)→事業実施:国際観光推進課
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費(定期便)	(87,733)	(87,733)	(0)				(87,733)	
トータルコスト	102,255千円(前年度102,646千円) [正職員:1.8人]							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社との連絡・調整、補助金交付、負担金支払事務 山陰国際観光協議会米子ソウル便利用促進委員会事務局業務(各種申請処理、委員会等開催、利用促進プロモーション、PR事業・協定事業実施)							
工程表の課題(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰唯一の国際定期航空路線である米子-ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに山陰両県の官民69団体で組織する山陰国際観光協議会の一員として積極的に利用促進事業を推進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容
アジアナ航空に対する支援	76,793	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料(3/4) ・空港ビル施設使用料(10/10) ・ハイジャック検査業務(10/10) ※()内は補助率
山陰国際観光協議会(米子ソウル便利用促進委員会)負担金	10,000	○事業費 30,000(内訳:県10,000、市町村・民間20,000、計30,000) ○事業内容 ・主にアウトバウンドの利用促進 ・商品造成支援 ・空港アクセス対策 ・情報発信 ・団体旅行支援 ・韓国観光公社等との連携事業 など
事務費	940	
合計	87,733	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課(内線:7310)→事業実施:国際観光推進課
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源			備考
				内 訳	起債	その他	
				国庫支出金		一般財源	
東アジア地域観光交流促進事業	(10,440)	(12,323)	(△1,883)			(10,440)	
トータルコスト	22,542千円(前年度24,751千円) [正職員:1.5人]						
主な業務内容	補助金・負担金交付業務、各種会議・観光展への参加、関係機関等との連絡調整						
工程表の概目(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する						

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を進めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)へ参加する。

(参加地域:12カ国12地域)

鳥取県(日本)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル) 沿海地方(ロシア)
ジョグジャカルタ特別州(インドネシア)、セブ州(フィリピン)、サラワク州(マレーシア)、
チェンマイ県(タイ)、クアンニン省(ベトナム)、ルアンパバン県(ラオス)、
シエムリアップ州(カンボジア)

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容
東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)	2,033	第10回本会議(EATOF2010)及び実務者会議への参加 1. 目的 参加地域間の相互理解と連携を深め、世界各地からの観光客誘致を進める 2. 参加者 東アジア12地域の知事・観光業界・大学等の産官学関係者約50名 3. 会議の概要 <本会議> ○開催地:ベトナム・クアンニン省 ○時期:平成22年9月予定 <実務者会議> ○開催地:ベトナム・クアンニン省(2回開催予定) ○内容:実務担当者によるEATOFの諸課題等の検討
	1,200	EATOF恒久事務局運営負担金 ○恒久事務局への職員派遣 ・開設時期:平成20年1月22日 ・職員数:3名(内訳:江原道1名(事務局長)、鳥取県1名、専門職員1名(平成22年1月18日現在)) ・目的:EATOF合意事項の実現(観光国際交流の推進等)
	350	東アジア地域航路活性化事業 EATOF2009で設置された「チャーター便及びクルーズ船協議会」の枠組みを活用した東アジア地域の観光交流促進のための韓国・江原道等とのタイアップ事業(航路及び観光PR等)
事務費	6,857	EATOF本会議、実務者会議への職員参加旅費、EATOF恒久事務局への職員派遣旅費等
合計	10,440	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)もてなしの心醸成事業	0	1,734	△1,734					
トータルコスト 0千円 (前年度 10,019千円)								
事業内容の説明 (廃止)								
(廃止)2010年上海万博大阪出展と連携した鳥取県PR事業	0	5,000	△5,000					
トータルコスト 0千円 (前年度 5,829千円)								
事業内容の説明 (廃止)								
(廃止)「2009鳥取・因幡の祭典」支援補助金	0	10,000	△10,000					
トータルコスト 0千円 (前年度 11,657千円)								
事業内容の説明 (廃止)								

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光政策課 (内線: 7310)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止)国際航空便利用促進費(台湾チャーター便支援)	0	3,594	△3,594					
トータルコスト 0千円 (前年度 4,423千円)								
事業内容の説明 (廃止)								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3657）

2目 計画調査費（地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘・山陰海岸 (浦富海岸)周辺地域 振興事業	2,000	1,000	1,000				2,000	
トータルコスト	8,454千円（前年度7,628千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	関係機関との連絡・調整、補助金交付・支援							
工程表の政策目標(指標)	山陰海岸ジオツーリズムに取り組む団体の支援							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向け、その魅力を県民に広く知っていただき、機運醸成を図ると共に、ジオツーリズムの定着に向け、メニューの開発・振興、普及啓発のための地域での創意工夫ある取組みを支援し、ジオパークを通じた山陰海岸周辺地域の振興を図る。

2 主な事業内容

（千円）

区 分	事業費	事業内容
山陰海岸ジオツーリズム振興補助金	1,600	民間の新たな創意工夫ある取組みと行政との協働によりジオツーリズムの振興を図ることを目的として、補助金を交付する。
		対象者 特定非営利活動法人、団体、企業、個人
		対象事業 山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムの振興につながる現地体験型事業
		対象経費 ・参加者の募集に必要な経費 ・現地体験に必要な経費 ・地質等の学習に必要な経費
		補助率 定額
		限度額 250千円
		予算額 1,600千円
普及啓発事業	400	ジオエリアを紹介する写真展開催等
計	2,000	

3 これまでの取組状況

平成21年度に創設した山陰海岸ジオツーリズム振興補助金を活用して、地域団体等による新たな取組みが行われた。ジオツーリズムの定着に向け、引き続き地域での取組みを支援していく必要がある。

■ H21 山陰海岸ジオツーリズム振興補助金活用実績

事業数	5事業
地域	浦富海岸、扇ノ山
内容	ジオポイント研修、ウォーク、シーカヤック、遊覧船、化石レプリカづくり等

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

東部総合事務所県民局 (内線: 0857-20-3655)

2目 計画調査費 (地方機関計上予算)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘地域振興事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	10,682千円 (前年度10,942千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	鳥取砂丘魅力アップ協議会の活動支援、市・関係機関との連絡調整、交付金交付							
工程表の政策目標(指標)	鳥取砂丘魅力アップ協議会が取り組む鳥取砂丘の新たな魅力づくり等支援							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

砂丘観光は団体客が中心で、個人やグループ旅行者に対応した内容が不十分である。そこで隣接するらっきょう畑等の鳥取砂丘の埋もれた資源を活用した砂丘観光の新たな魅力づくりを進め、集客数や砂丘滞在時間を増やすとともに、特産物等の販売促進など砂丘及び周辺地域における経済効果の拡大を図る。

2 主な事業内容

鳥取砂丘魅力アップ協議会運営支援交付金

事業主体	鳥取砂丘魅力アップ協議会 (地元生産者、砂丘観光事業者、JA、観光協会等の関係者により設立された団体)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会の体制充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、検討会 等 ○砂丘らっきょう・らっきょう畑を使った集客向上 <ul style="list-style-type: none"> ・らっきょうとれとれフェア ・らっきょうの花フェア ・案内看板・プランター設置 等 ○新たな砂丘の魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> ・梨等の特産物を活用した観光と農業が一体となった取組み ・砂丘をより楽しんでいただくための情報発信 ・砂丘ならではの食の充実
対象経費	協議会開催費、研修会開催費、イベント開催費、情報発信費
補助率	1/2 (協議会会員負担部分は除く。)
事業費	2,115千円 (財源内訳: 県、市各1,000千円、協議会会員115千円)

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3657）

2目 計画調査費（地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地区観光資源活用事業	371	200	171				371	
トータルコスト	1,985千円（前年度1,857千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	施策検討							
工程表の政策目標(指標)	—							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 地域にあるあまり知られていない観光資源（グリーンツーリズム、地域の歴史、伝統文化等）について発掘・調査し、それらを活用した観光振興の方策を検討する。</p> <p>2 想定される発掘・調査対象事例 ・中山間地域での滞在型、体験型観光の開発につながる取組み ・地域の食を活かした観光振興につながる取組み ・地域の歴史、文化を活かした観光振興につながる取組み</p> <p>3 事業費 371千円（調査活動に要する経費）</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3952）

1目 観光費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会開催支援事業	1,000	750	250				1,000	
トータルコスト	1,000千円 (前年度750千円) [正職員：0.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標 (指標)	東郷湖活性化プロジェクトの支援 ・湯梨浜トライアスロン大会の支援 ・中華コスプレアジア大会の支援 ・東郷池を守り育てるアダプトプログラムの拡大に向けた支援							

事業内容の説明

1. 事業の目的・概要

東郷池面でのスイム、東郷池周回コースでの自転車及びランニングで競われる「ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会」を通じて、鳥取県及び鳥取県中部地域の魅力を県内外に向けて発信することにより、誘客の促進を図る。

2. 事業の内容

湯梨浜町、同町商工会及び鳥取県トライアスロン協会等で構成される実行委員会に対し、事業立ち上げ期間（平成21年度から23年度の3カ年度）における開催経費の一部を助成する。

補助対象者	補助対象経費	全体事業費 千円	補助金 千円	補助率
ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会実行委員会 (事務局：湯梨浜町内)	広報、ボランティアに係る経費	9,100	1,000	1/2

3. これまでの取組状況

- 平成21年5月24日に開催された第1回大会の運営を支援するため、経費の一部を助成。
(1,000千円：20年度11月補正(債務負担行為)250千円、21年度当初予算750千円)。
- 第1回大会は中国地方各県の国体予選会を兼ねて実施され、県内外から256名(うち県外218名)の選手が参加したほか、ボランティアも約470名参加した。
- これにより周辺観光地や宿泊施設など地元経済の活性化や鳥取県の魅力発信に大きく寄与した。

【第1回大会の概要】

日 時：平成21年5月24日(日)

会 場：東郷湖周辺

参加者：選 手……………256人(うち県外218人)

ボランティア…約470人

参加選手等の声：

- ・自然景観がすばらしい
- ・宿泊施設が整っている
- ・交通量が少なく周遊コース設定が容易で低コスト
- ・高速道路などの整備により県外選手誘致に最適
- ・要改善事項(ゴール環境の整備、エイドステーションの拡充、駐車場及びコース案内看板の不足、アワードパーティでの地元との交流不足) など

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所県民局（電話：0858-23-3952）

1目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中華コスプレアジア 大会開催支援事業	800	0	800				800	

トータルコスト 800千円（前年度0千円） [正職員：0.0人]

主な業務内容 補助金交付事務

工程表の政策目標（指標） 東郷湖活性化プロジェクトの支援
 ・湯梨浜トライアスロン大会の支援
 ・中華コスプレアジア大会の支援
 ・東郷池を守り育てるアダプトプログラムの拡大に向けた支援

事業内容の説明

1 事業の目的

鳥取県中部地域を舞台として行われる「中華コスプレアジア大会」を通じて、地域の魅力を大きく国内外に情報発信し、誘客促進と観光振興、地域の活性化につなげる。

2 事業の内容

中国庭園「燕趙園」を主会場として開催される「中華コスプレアジア大会」の事業立ち上げ期間（平成20年度から22年度の3カ年度）における開催経費の一部を助成する。

補助対象者	補助対象経費	全体事業費 千円	補助金額 千円
中華コスプレプロジェクト日本本部 （事務局：燕趙園内）	海外からの参加者招聘経費（海外からの航空運賃、国内移動旅費、国内滞在費、通訳、交流会、県内観光入場料等）	2,900	800

3 これまでの取組状況

- ・一昨年及び昨年開催された過去2回の大会運営を支援するため、経費の一部を助成（800千円：21年度9月補正予算）。
- ・第2回大会は、第1回大会の中国及び韓国からの参加者に加え、香港及びタイからも参加者を招聘し、アジア大会として飛躍した（海外参加国2国→4国、海外参加者14名→30名）。
- ・これにより国内のみならずアジアへの鳥取県の知名度向上や誘客の促進が図られるとともに、周辺観光地や宿泊施設など地元経済の活性化に寄与した。

【第2回大会の概要】

日 時：平成21年10月24日（土）、25日（日）

会 場：中国庭園「燕趙園」、倉吉白壁土蔵群周辺

参加者：国内…107人（19都道府県）

海外…中国（7人）、韓国（6人）、香港（9人）、タイ（8人）

内 容：1日目：撮影会、交流会

2日目：撮影会、エキシビジョン

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9769）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫補助金	起債	その他	一般財源	
大山パークウェイ構想 日本旅行作家協会総会 誘致事業	2,400	1,700	700				2,400	
トータルコスト	7,241千円(前年度6,671千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	大山パークウェイ構想にかかる催事実施、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域資源(ひと・もの・活動)の魅力を県内外の客が享受できるようにする							

1 事業内容の目的・概要

観光客の滞在延長を目指す大山パークウェイ構想の一環として、日本旅行作家協会総会(特別例会)を誘致し、当エリアの認知度をあげ、旅関係連載雑誌等を通じた鳥取県への誘客増を図る。

※大山パークウェイ構想

- (1) 蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる80キロの絶景ドライブルートを大山パークウェイと名付け、エリアのブランド化を図る。
- (2) スローライフ・スローフードを打ち出し、地場産業の活性化を目指す。
- (3) 「食」と「体験」で泊を延ばし、誘客増によって持続する経済基盤を構築する。

2 主な事業の内容

- (1) 日本旅行作家協会の総会を鳥取県に誘致し、会員へ地元の魅力を紹介する

※日本旅行作家協会

観光の専門家集団による権威ある組織団体であり、旅行産業界に大きな影響力を持つ団体。

- ・会長 兼高かおる氏(日本エコツーリズム協会初代会長)
- ・会員 300名 著名人を含む旅行作家など

日本旅行作家協会の総会誘致による人脈構築を契機に、次年度以降は、日本エコツーリズム全国大会および日本エコツーリズム大会世界大会の鳥取県開催誘致による鳥取県の魅力発信を目指す。

(2) 事業費

日本旅行作家協会総会誘致経費 2,400千円

事業	要求額(千円)	内 容
レセプション開催	900	60名
エクスカージョン催行	500	大山パークウェイ周辺地域視察移動経費
マスコミ招致	500	取材経費
事務費	500	連絡調整費
計	2,400	

(3) 市町村等との連携

主 体	役 割 分 担
鳥取県	総会誘致及び実施、連絡調整等
大山パークウェイ協議会	視察コースのコーディネート及び案内
地元市町村	視察受入れ(案内ガイド対応)

3 これまでの取組状況

- (1) H20から取り組みを始めた大山パークウェイ構想は、3県(鳥取県、島根県、岡山県)連携のもとNPO大山王国を核として民間事業者主導により情報発信等が進み、県外の旅行会社やマップのインターネットサイトに掲載されるなど認知度が上がってきている。
- (2) H21に実施した旅の専門家による大山パークウェイの現地視察診断では日本旅行作家協会会長から高い評価を受けた。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9709）

1目 観光費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫補助金	起債	その他	一般財源													
(新)湯ったりだいせん 発信事業	債務負担行為 2,025 225	0	225				債務負担行為 2,025 225													
トータルコスト	1,032千円(前年度0千円)[正職員:0.1人]																			
主な業務内容	大山寺地区の足湯整備にかかる補助業務																			
工程表の政策目標(指標)	大山寺で掘削した温泉を活用した地域振興																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>大山の新しい観光資源となる“温泉”の魅力をわかり易く発信するため手段として、大山町と協力して足湯を整備する。</p> <p>*経緯 平成18年、大山寺参道の廃業旅館を地元企業が買収。温泉を活用し、健康をテーマとして大山地域を活性化する構想を発表。平成21年4月、温泉の開削に成功したものの。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 足湯整備事業の実施主体(大山町)への助成 事業費総額 15,000千円(町の起債事業) 県補助金額 225千円(県の10年間の補助金総額2,250千円)</p> <p>*実質町負担額の1/2を県が補助 $\{15,000\text{千円(事業費総額)} - 10,500\text{千円(交付税措置)}\} \times 1/2 = 2,250\text{千円}$</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>県補助金</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>225千円</td> <td>初年度</td> </tr> <tr> <td>平成23～31年度</td> <td>2,025千円</td> <td>225千円×9年間(債務負担)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,250千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 足湯整備箇所 大山寺参道沿い(旧派出所跡地を予定)</p> <p>(3) 維持管理 足湯整備後の日常の維持管理や観光客へのサービスは、地元住民(大山自治会)が行う。</p> <p>3 これまでの取組状況</p> <p>民間企業を中心として地域を再生・活性化しようとする地元の想いや努力に対し、大山周辺の広域の地域活性化の観点で県を含む産学官の連携により取り組みが拡大しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年8～10月 大山地域活性化講座(鳥取大学地域貢献講座の位置づけ) 参加者約100名 ・21年10～11月 大山紅葉祭りに合わせ、地元有志が仮設足湯イベント ・22年1月 大山地域の活性化を考えるシンポジウム(内閣府関係事業/参加者150名) 									年度	県補助金	備考	平成22年度	225千円	初年度	平成23～31年度	2,025千円	225千円×9年間(債務負担)	計	2,250千円	
年度	県補助金	備考																		
平成22年度	225千円	初年度																		
平成23～31年度	2,025千円	225千円×9年間(債務負担)																		
計	2,250千円																			

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局 (電話:0859-31-9769)

1目 観光費<地方機関計上予算>

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海観光宣伝事業～大山中海がいな魅力の発見&体感大作戦～	13,755	16,620	△2,865				13,755	

トータルコスト 18,596千円 (前年度20,763千円) [正職員:0.6人]

主な業務内容 大山中海圏域の観光的魅力のPRにかかる補助金、協議・連絡調整業務

工程表の政策目標 (指標) 西部地域の自然環境の情報発信と意識啓発

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

【目的】

大山中海圏域で行われる全国規模の大会やイベント等を通じて、地域の観光魅力を情報発信しPRする。

【概要】

鳥取県で生まれた2つの大会の開催経費への支援

- (1) 日本トライアスロン皆生大会 (鳥取県発祥鉄人レース)
- (2) 皆生・大山SEA TO SUMMIT (鳥取県発祥環境スポーツイベント)

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	事業費	内 容
皆生トライアスロン協会補助金事業	10,000	節目の記念大会となる第30回全日本トライアスロン皆生大会の広報宣伝活動を支援するための皆生トライアスロン協会に対する補助金。
皆生・大山SEA TO SUMMIT開催補助事業	2,000	昨年大山周辺で開催され、国内外から非常に大きな注目を集めた国内初のカヤック・バイク・登山による環境を考えるスポーツイベントの2回目 「皆生・大山SEA TO SUMMIT2010」を行う実行委員会 (鳥取県山岳・カヌー・サイクリングの各協会、観光関係団体、NPO、市町村等で構成予定)への補助金。(平成23年度まで鳥取県で開催支援予定) ・SEA = カヤック競技 (皆生～淀江) ・TO = 自転車競技 (淀江～大山寺) ・SUMMIT= 大山登山 (大山寺～大山山頂)
連絡調整費	1,755	大山中海圏域の観光宣伝を行う事務的経費
計	13,755	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局 (0859-31-9629)

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海振興費	843	1,406	△ 563				843	
トータルコスト	12,945千円 (前年度16,319千円) [正職員：1.5人]							
主な業務内容	大山サミット及び大山に関する勉強会の企画・実施、関係諸団体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域資源(ひと・もの・活動)の魅力を県内外の客が享受できるようにする							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 地域資源の掘り起し・磨き上げを行う市町村、民間団体の取り組みに対し、その連携を図り、またその情報発信をサポートする。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 大山町、伯耆町、江府町の3町による「大山サミット」の開催 (2) 官民合同の大山に関する勉強会の企画・実施 (3) 地域の歴史、文化、自然等の地域資源の掘り起し・磨き上げを行おうとする団体との連携・協力 (4) 関係諸団体との連絡調整</p> <p>所要経費 843千円</p>								
大山ぐるっと！ バス周遊事業	1,570	1,570	0				1,570	
トータルコスト	3,184千円 (前年度3,227千円) [正職員：0.2人]							
主な業務内容	大山る一ぶバスの運営負担金の支払い、関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	大山周辺の主要観光地を周遊する二次交通の確保							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 民間と運行先市町と県が協力して大山エリアの観光客の移動手段を確保するための大山る一ぶバスの運行に要する経費を負担するもの。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 県負担金 1,500千円 (運行支援協議会事業費の1/3) (2) 平成22年度運行計画 運行期間 4月3日から11月7日まで (原則、土・日・祝日のみ運行) 運行日数 88日 (平成21年度：82日) (3) その他 JR西日本との連携によって誘客増を図る。</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9769）

1目 観光費＜地方機関計上予算＞

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
(廃止) 大山中海エ コツーリズム 推進事業	0	2,135	△2,135					
トータルコスト	0千円（前年度4,143千円）							
<p>事業内容の説明</p> <p>平成21年度（平成19～21年度の3ヶ年）限りの事業であることによる廃止</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
世界に開かれた“とっとり”国際観光推進事業（外国人観光客受入向上推進事業）	(32,069) 30,127	(16,292) 16,292	(15,777) 13,835			(1,954) (諸収入) 12	(30,115) 30,115
トータルコスト	38,195千円（前年度22,920千円）〔正職員：1.0人、非常勤職員：1.0人〕						
主な業務内容	アクションプログラム推進の連絡調整・会議開催等の事務、民間活動支援・受入態勢の整備に係る事務、外国人向け観光資料作成事務、補助金交付事務、契約事務等						
工程表の政策目標（指標）	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する						

※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人観光客の満足度を上げ、訪問客を持続的に増やすため、外国人観光客の誘致及び受入に必要な取組（インフラ整備、人材育成など）を官民協働で進める。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
鳥取県国際観光アクションプログラムの推進	1,888	○アクションプログラム推進委員会（仮称）の開催 ○有識者・県内業界等からの意見聴取 ○外国人観光客満足度調査の実施
民間活動の支援	9,990	
研修会等の開催	990	観光施設・宿泊施設関係者などを対象にした「もてなし研修会」等の開催
インバウンド活動支援補助金	9,000	
【一般分 7,000千円】		
交付先	民間事業者・民間団体	
対象経費	プロモーション経費、外国語版ホームページ・パンフレット作成経費、インバウンド研修会開催経費、クレジットカード対応機器経費、両替所整備経費、二次交通運行経費 など	
補助率	民間団体 2/3、単独企業 1/2	
補助限度額	500千円	
【(新)韓国ホームショッピング分 2,000千円】		
交付先	民間事業者（宿泊施設等）	
対象経費	ホームショッピング旅行商品の造成、番組の制作・放映等に要する経費	
補助率	1/2	
補助限度額	1,000千円	
外国人観光客受入態勢の整備	4,108	○（新）米子空港ビル観光案内所への韓国語案内スタッフ配置（1名） ○（新）国際観光サポーター（ボランティア）による通訳・翻訳の支援活動 ○（新）観光施設の外国人観光客入場料減免PRチラシの作成
外国人観光客向け資料・ポスターの作成	11,719	○（新）個人客用観光マップ（台湾語、ロシア語）、観光宣伝ポスター（4種類）の作成 ○観光パンフレット（英語、韓国語、中国語、台湾語、ロシア語、タイ語）の増刷
非常勤職員（国際観光担当）の配置	2,422	1名
合 計	30,127	

※別途緊急雇用基金を活用し、外国語（英語・韓国語）の対応が可能な調査員（1名）により、本県を訪れた外国人観光客の満足度調査を行う

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県国際観光アクションプログラムの策定に向けて、国際観光推進の課題抽出や対応策等の検討を行い、併せて、鳥取県インバウンド活動支援補助金の創設やもてなし研修会の開催等による民間事業者への支援を行った。今後は、アクションプログラムの推進により、官民協働による計画的・戦略的な外国人観光客の誘客を行うとともに、国際観光サポーターによる通訳等の支援活動を拡充するなど、外国人観光客受入態勢の向上を図っていく。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光政策課(内線:7221)→事業実施:国際観光推進課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界へ打って出る“とっとり”国際観光推進事業(外国人観光客誘致推進事業)	(88,508) 58,300	(55,120) 55,120	(33,388) 3,180			(30,208)	(58,300) 58,300	
トータルコスト	94,606千円(前年度98,202千円)[正職員:4.5人、非常勤職員:1.0人]							
主な業務内容	諸外国での広報宣伝、旅行商品の造成・販売促進支援、海外プロモーションに必要な人員配置、国際チャーター便誘致、隣県との広域連携事業							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。							

※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

諸外国から鳥取県を訪問する観光客を増やすことにより、県内観光消費額を増加させ、もって本県の観光産業の振興及び、米子ソウル便、環日本海定期貨客船などの国際交通インフラの維持・発展につなげる。

2 主な事業内容

区 分	予算額	内 容
① 諸外国での観光情報発信		
広報宣伝	22,300	・韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の新聞、雑誌、テレビへの広告掲載料等 (新)ロシアプロガーの招へい経費
旅行会社等による視察ツアー実施	5,330	・旅行商品の造成、観光宣伝のための、韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等の旅行会社、メディア等の招へい経費
② 旅行商品の造成・販売促進等への支援	8,000	(新)外国人観光客誘致対策事業補助金 島根県と共同で、米子ソウル便及びDBS貨客船を利用した旅行商品を造成・販売する旅行会社に対してバス代を支援 ＜山陰国際観光協議会への助成＞
③ 海外プロモーションに必要な人員配置	4,099	(新)観光客誘致ソウル駐在員設置委託料
④ 国際チャーター便の誘致	1,250	・運航会社とタイアップした広報宣伝経費
⑤ 隣県等との広域連携事業	11,980	(新)中国地区広域観光検討部会への負担金 (新)関西国際空港内観光案内所整備運営協議会への負担金(関空から本県へ観光客を誘導) ・香港観光客誘致事業負担金(岡山県と連携) ・山陰国際観光協議会への負担金 ・その他、中国地区各県や香川県、京都府、兵庫県と連携した諸外国への広報宣伝
⑥ 事務費等	5,341	・職員旅費等
合 計	58,300	

※(別途)緊急雇用創出事業活用事業

①外国人観光客誘致対策事業	外国旅行会社等の視察ツアーの案内、各種観光資料やモデルルート企画・作成・翻訳ができる推進員を民間企業・団体に委託して配置(1名)＜ロシア語対応ができる者＞
②新たな国際観光市場へのプロモーション強化事業	新規市場(ロシア・東アジア・(韓国・台湾を除く))への観光プロモーションを行うスタッフを配置(1名)＜観光政策課内＞
③世界に通用する“とっとり”国際観光資源発掘・情報発信	外国からの個人観光客を増やすため、地域素材の発掘、情報発信、旅行商品造成・販売まで一体的に行う事業を民間委託(新規雇用3人)

3 これまでの取組状況・改善点

- (1) 韓国、台湾、ロシア、香港、タイ等における新聞広告・新聞雑誌記事・テレビ番組や博覧会出展などによる広報宣伝。新年度は各国での認知度向上のための取組を強化
- (2) 外国人観光客誘致対策事業補助金による米子ソウル便を利用した誘客促進
新年度は、島根県と経費を負担し合いながら実施するとともに、DBS貨客船も対象に追加
- (3) 旅行商品化・情報発信のための旅行会社・メディア等の招請
- (4) 周辺府県との連携した中国や香港、台湾などからの誘客促進。新年度は、中国5県での取組を強化するとともに、関西国際空港内に観光案内機能を設置するなど、誘客促進を図る。等

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)国境を越えた広域観光推進事業(韓国江原道との連携事業)	2,549	0	2,549				2,549	
トータルコスト	4,163千円(前年度0千円) [正職員:0, 2人]							
主な業務内容	DBS国際貨客船を利用し県内宿泊を伴う修学旅行のモデルコース及びPR資料の作成、県外及び韓国の旅行会社及び学校関係者への売り込み、修学旅行に係るバス代支援補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

昨年6月の環日本海航路(DBS国際定期貨客船)就航や、今年3月の鳥取自動車道(県内区間)の開通により、鳥取県は「北東アジアのゲートウェイ」としての機能がさらに充実したところ。これらの交通インフラの観光面での活用を一層進めるため、韓国江原道をはじめとする海外諸地域の関係機関と連携した「新しい観光ルートの開発」「観光情報の発信」「旅行会社等への働きかけ」を積極的にを行い、両地域の滞在客増加及び環日本海航路の利用促進を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

項目	事業費	内 容
韓国江原道との共同モデルコース作成	740	・DBS国際定期貨客船を利用した韓国江原道と鳥取県(又は山陰)がセットになった観光モデルコース開発(韓国江原道との共同作業) ・同モデルコースのPR資料作成(韓国江原道との共同制作) *重点ターゲット…日韓双方の修学旅行・教育旅行
モデルコースの販売促進	809	・旅行会社、学校、団体等へのモデルコース(PR資料)配布 ・日韓双方の旅行会社担当者や学校関係者を対象にした視察旅行の実施(招致人数)延べ30名程度
修学旅行・教育旅行への支援	1,000	・修学旅行、教育旅行が催行された場合のバス代支援(支援対象)鳥取県内での宿泊を伴う観光の移動に要するバス代(支援内容)バス1台につき5万円を上限として実費を旅行会社へ支給 *韓国江原道内では、別途江原道の支援制度を適用
合計	2,549	

3 これまでの取組状況

DBS国際定期貨客船就航後、日韓双方の旅行会社に旅行商品造成の働きかけを行った結果、双方で旅行商品が造成され、一定の送客実績につながった。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光政策課（内線：7310）→事業実施：国際観光推進課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費（定期便）	87,733	87,733	0				87,733	
トータルコスト	102,255千円（前年度102,646千円）〔正職員：1.8人〕							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社との連絡・調整、補助金交付、負担金支払事務 山陰国際観光協議会米子ソウル便利用促進委員会事務局業務（各種申請処理、委員会等開催、利用促進プロモーション、PR事業・協定事業実施）							
工程表の政策目標（指標）	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰唯一の国際定期航空路線である米子ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに山陰両県の官民69団体で組織する山陰国際観光協議会の一員として積極的に利用促進事業を推進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
アジアナ航空に対する支援	76,793	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料（3/4） ・空港ビル施設使用料（10/10） ・ハイジャック検査業務（10/10） ※（ ）内は補助率
山陰国際観光協議会（米子ソウル便利用促進委員会）負担金	10,000	○事業費 30,000（内訳：県10,000、市町村・民間20,000、計30,000） ○事業内容 ・主にアウトバウンドの利用促進 ・商品造成支援 ・空港アクセス対策 ・情報発信 ・団体旅行支援 ・韓国観光公社等との連携事業 など
事務費	940	
合 計	87,733	

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課（内線：7310）→事業実施：国際観光推進課
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東アジア地域観光交流促進事業	10,440	12,323	△1,883				10,440	
トータルコスト	22,542千円（前年度24,751千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	補助金・負担金交付業務、各種会議・観光展への参加、関係機関等との連絡調整							
工程表の取組目標（指標）	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を進めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）へ参加する。

（参加地域：12カ国12地域）

鳥取県（日本）、江原道（韓国）、吉林省（中国）、中央県（モンゴル）沿海地方（ロシア）、ジョグジャカルタ特別州（インドネシア）、セブ州（フィリピン）、サラワク州（マレーシア）、チェンマイ県（タイ）、クアンニン省（ベトナム）、ルアンパバン県（ラオス）、シエムリアップ州（カンボジア）

2 主な事業内容

(単位：千円)

区 分	予算額	内 容
東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)	2,033	第10回本会議（EATOF2010）及び実務者会議への参加 1. 目的 参加地域間の相互理解と連携を深め、世界各地からの観光客誘致を進める 2. 参集者 東アジア12地域の知事・観光業界・大学等の産官学関係者約50名 3. 会議の概要 <本会議> ○開催地：ベトナム・クアンニン省 ○時 期：平成22年9月予定 <実務者会議> ○開催地：ベトナム・クアンニン省（2回開催予定） ○内 容：実務担当者によるEATOFの諸課題等の検討
	1,200	EATOF恒久事務局運営負担金 ○恒久事務局への職員派遣 ・開設時期：平成20年1月22日 ・職員数：3名（内訳：江原道1名（事務局長）、鳥取県1名、専門職員1名（平成22年1月18日現在）） ・目的：EATOF合意事項の実現（観光国際交流の推進等）
	350	東アジア地域航路活性化事業 EATOF2009で設置された「チャーター便及びクルーズ船協議会」の枠組みを活用した東アジア地域の観光交流促進のための韓国・江原道等とのタイアップ事業（航路及び観光PR等）
事務費	6,857	EATOF本会議、実務者会議への職員参加旅費、EATOF恒久事務局への職員派遣旅費等
合計	10,440	

平成22年度当初予算歳入歳出事項別明細書(文化観光局)

(単位:千円)

款項目 節	2款 総務費						7款 商工費			
	うち文化観光局						うち文化観光局			
	2項 企画費			3項 交通対策費			1項 商業費		3項 金融対策費	
			1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費					
1 報酬	446,351	61,503	61,503	54,222	7,281		43,785	5,800		
2 給料	2,982,040	124,179	124,179	124,179			402,641	94,075		
3 職員手当等	5,331,811	60,423	60,423	60,423			195,917	45,775		
4 共済費	1,150,761	53,674	53,674	53,090	584		173,096	35,498		
5 災害補償費	500									
6 恩給及び退職年金	37,480									
7 賃金	32,398						179	53		
8 報償費	194,123	9,969	9,969	1,286	8,683		235,288	8,668		
9 旅費	254,615	64,528	64,528	50,222	13,586	720	91,649	26,476		
費用弁償	28,728	11,676	11,676	10,590	814	272	10,869	2,959		
普通旅費	172,798	23,531	23,531	16,093	6,990	448	48,611	13,208		
特別旅費	53,089	29,321	29,321	23,538	5,782		32,169	10,309		
10 交際費	4,500									
11 需用費	489,396	30,102	30,102	14,135	15,807	160	71,594	39,410		
12 役務費	530,829	20,408	20,408	8,922	11,436	50	40,807	9,351		
13 委託料	2,653,680	533,543	533,543	63,051	470,492		418,314	329,245		
14 使用料及び賃借料	625,489	19,900	19,900	13,332	6,558	10	82,766	7,193		
15 工事請負費	1,367,377	229,993	229,993		229,993					
16 原材料費										
17 公有財産購入費										
18 備品購入費	12,804	2,522	2,522	400	2,122		3,000			
19 食糧金、補助及び交付金	7,213,061	295,534	295,534	57,210	151,531	86,793	5,997,217	214,913		
20 扶助費										
21 貸付金							5,154,537	82,886	82,886	82,886
22 補償、補填及び賠償金	6,455									
23 償還金、利子及び割引料	205,110									
24 投資及び出資金							6,245			
25 積立金	642,746									
26 寄付金										
27 公課費	266									
28 繰出金							14,952			
予備費										
計	24,191,792	1,506,278	1,506,278	500,472	918,073	87,733	12,931,987	899,343	82,886	82,886
財 国庫支出金	2,286,107	1,580	1,580		1,580		1,566	1,566		
源 地 方 債	385,000									
内 そ の 他	1,370,918	97,775	97,775	35,429	62,346		5,203,237	83,492	82,886	82,886
訳 一 般 財 源	20,149,767	1,406,923	1,406,923	465,043	854,147	87,733	7,727,184	814,285		

平成22年度当初予算歳入歳出事項別明細書(文化観光局)

(単位：千円)

節	款 項 目	7款 商工費		文化観光局 合計
		うち文化観光局 7項 観光費	1目 観光費	
1	報 酬	5,800	5,800	67,303
2	給 料	94,075	94,075	218,254
3	職員手当等	45,775	45,775	106,198
4	共 済 費	35,498	35,498	89,172
5	災 害 補 償 費			
6	恩給及び退職年金			
7	賃 金	53	53	53
8	報 償 費	8,668	8,668	18,637
9	旅 費	26,476	26,476	91,004
	費用弁償	2,959	2,959	14,635
	普通旅費	13,208	13,208	36,739
	特別旅費	10,309	10,309	39,630
10	交 際 費			
11	需 用 費	39,410	39,410	69,512
12	役 務 費	9,351	9,351	29,759
13	委 託 料	329,245	329,245	862,788
14	使用料及び賃借料	7,193	7,193	27,093
15	工事請負費			229,993
16	原 材 料 費			
17	公有財産購入費			
18	備 品 購 入 費			2,522
19	負担金、補助及び交付金	214,913	214,913	510,447
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			82,886
22	補償、補填及び賠償金			
23	償還金、利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寮 付 金			
27	公 課 費			
28	繰 出 金			
	予 備 費			
	計	816,457	816,457	2,405,621
財	国 庫 支 出 金	1,566	1,566	3,146
源	地 方 債			
内	そ の 他	606	606	181,267
訳	一 般 財 源	814,285	814,285	2,221,208

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料・報酬	一般職員	33 人
	国際交流員	14 人
負担金、補助及び交付金	国際交流拠点整備負担金	7,000
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	46,497
	自治体国際化協会負担金	1,926
	新規招致航空費負担金	511
	海外旅行傷害保険負担金	298
	C I R 日本語講座集中研修負担金	138
	北東アジア地域自治体連合実務者参加負担金	40
	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500
	国道 29 号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会負担金	300
2 目	計画調査費	
報酬	文化芸術振興審議会委員	10 人
	非常勤職員 (監視員・作業補助)	56 人
	非常勤職員	3 人
負担金、補助及び交付金	鹿野・鳥の劇場運営委員会補助金	7,000
	BeSeTo 演劇祭 (鳥取公演) 実行委員会補助金	2,750
	鳥取県総合芸術文化祭開催事業補助金	38,014
	とっとり伝統芸能まつり実行委員会負担金	9,179
	アーティストインレジデンス実行委員会補助金	2,900
	鳥取県文化芸術活動支援補助金	14,081
	アートスタート活動支援事業補助金	2,000
	騒いでも大丈夫! はじめてのクラシック・親子体験事業補助金	23,949
	鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	23,677
	鳥取県美術展覧会巡回展監視業務負担金	379
	青少年のための弦楽入門講座開催支援事業補助金	2,718
	芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業補助金	1,000
	鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業補助金	2,407
	財団法人地域創造負担金	2,545
	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	1,500
	文化資産学習会開催助成事業補助金	400
	山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金	4,582
	ジオパーク案内板整備補助金	500
	鳥取県山陰海岸ジオウォーク補助金	500
	外国人対応パンフレット等作成のための翻訳補助金	250
	ととりの文化芸術探訪事業補助金	2,300
	鳥取県収蔵品等調査活用支援事業補助金	1,400
	鳥取県魅力ある展示支援事業補助金	3,200
	はばたけ、とっとり! 文化等交流活動支援事業補助金	1,700
	山陰海岸ジオツーリズム振興補助金	1,600
	鳥取砂丘魅力アップ協議会運営支援交付金	1,000
3 目	交通対策費	
負担金、補助及び交付金	米子-ソウル交際定期便利利用促進実行委員会負担金	10,000
	アジアナ航空運航経費補助金	76,793
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	82,886

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
3項	観光費	
1目	観光費	
給料	一般職員	25 人
報酬	非常勤職員	3 人
負担金、補助 及び交付金	グリーンツーリズム普及促進補助金	500
	山陰文化観光圏整備事業費負担金	7,500
	鳥取・岡山観光連携事業費負担金	2,000
	鳥取県インバウンド活動支援補助金	9,000
	外国人観光客誘致対策事業補助金	8,000
	韓国ケーブルテレビ放映負担金	2,500
	山陰国際観光協議会負担金	4,000
	中国地区広域観光検討部会への負担金	2,000
	台北国際旅行博出展負担金	1,000
	中国地方国際観光ビジネスフォーラム開催事業負担金	1,000
	岡山県と連携した香港からの観光客誘致事業負担金	1,130
	関西国際空港内観光案内所整備運営協議会への負担金	1,850
	環日本海航路修学旅行推進事業補助金	1,000
	(社)日本観光協会負担金	718
	(社)日本観光協会中国支部負担金	120
	山陰観光連盟負担金	324
	国際観光振興機構負担金	690
	日本観光協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	鳥取県観光メニュー実施支援補助金	3,000
	鳥取県心に残る映画ロケ協働推進事業補助金	1,000
	鳥取砂丘検定実行委員会負担金	400
	鳥取県観光二次交通整備支援事業補助金	1,100
	(社)鳥取県観光連盟運営費負担金	61,053
	テレビ番組等誘致、制作支援負担金	2,400
	因幡・但馬広域観光キャンペーン実行委員会負担金	500
	日本観光協会全国広域観光振興事業負担金	2,000
	京都・兵庫・鳥取三府県連携誘客事業負担金	1,500
	「ディスカバーウエスト」連携協議会負担金	5,000
	いなば温泉郷協議会負担金	1,310
	梨の花温泉郷広域観光協議会負担金	4,000
	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会負担金	5,000
	皆生温泉開湯110周年記念事業負担金	1,000
	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,200
	国際観光展等への参加支援事業補助金	1,293
	コンベンション開催助成費補助金	13,800
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	26,130
	鳥取空港-鳥取砂丘間乗合ジャンボタクシー運行支援事業補助金	1,120
	ようこそようこそ、ゲゲゲのふるさと鳥取！PR事業補助金	15,000
	温泉地魅力活用支援事業補助金	8,000
	湯梨浜トライアスロン大会支援補助金	1,000
	中華コスプレアジア大会支援補助金	800
	皆生トライアスロン協会補助金	10,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	2,000
	大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
	足湯整備費補助金	225

継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

款	項	事業名	全体計画							継続費の総額に対する進捗率				
			年度	年割額	左の財源内訳				前前年度末までの支出額		前年度末までの支出額(見込)額	当該年度支出予定額	翌年度以降の支出予定額	
					特定財源			一般財源						
国庫支出金	地方債	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%		
2 総務費	2 企画費	とりぎん文化会館舞台機構設備改修事業費	21	13,443			13,443		2,368	2,368	2,368		0.4	
			22	233,895			233,895			244,970	244,970		37.4	
			23	407,062			407,062					407,062		62.2
			計	654,400			654,400		2,368	244,970	247,338	407,062		100.0

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出分に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額 期 間	当該年度以降の支出予定額 期 間	左 の 財 源 内 訳			
				国庫支出金	地方債	その他 (手数料)	一般財源
平成22年度 バスポート発給業務委託	千円 60,000		平成23年度から 平成24年度まで	千円 60,000	千円	千円 53,060	千円 6,940
平成22年度 足湯整備費補助	2,025		平成23年度から 平成31年度まで	2,025			2,025

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額 期 間	当該年度以降の支出予定額 期 間	左 の 財 源 内 訳			
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源
平成20年度 鳥取県立県民文化会館管理 委託	千円 1,184,950	平成21年度	平成22年度から 平成25年度まで	千円 942,799	千円	千円	千円 942,799
平成20年度 鳥取県立倉吉未来中心管理 委託	450,005	平成21年度	平成22年度から 平成25年度まで	354,972			354,972
平成20年度 鳥取県立重福館管理委託	365,880	平成21年度	平成22年度から 平成25年度まで	290,704			290,704
平成20年度 鳥取県立米子コンベンショ ンセンター管理委託	474,830	平成21年度	平成22年度から 平成25年度まで	373,132			373,132
平成20年度 鳥取県立夢みなとタワー管 理委託	576,595	平成21年度	平成22年度から 平成25年度まで	457,540			457,540
平成21年度 米子ソウル国際定期便運 行経費補助	153,586	平成21年度	平成22年度から 平成23年度まで	77,155			77,155

条 例 名 等	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について																																	
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由 住民に身近な行政は住民に身近な地方公共団体で行うという地方分権の基本理念に立ち、市町村が地域の実情に応じた行政を積極的に展開し、より住民サービスの向上を図ることができるようにするため、知事の権限に属する事務のうち、市町村が処理する事務の範囲を拡大する。</p> <p>2 概 要 (1) 次の事務を以下(2)に掲げる町に移譲する。 ア 旅券法に基づく事務のうち、次に掲げるもの (ア) 一般旅券の発給の申請の受理及び知事への送付 (イ) 申請者の身分上の事実の確認 (ウ) 申請者の身分上の事実が明らかであることの認定 (エ) 確認及び書類の提示又は提出の要求 (オ) 一般旅券の交付 (カ) 一般旅券の記載事項の訂正の申請の受理及び知事への送付 (キ) 一般旅券の査証欄の増補の申請の受理及び知事への送付 (ク) 一般旅券の紛失又は焼失の届出の受理及び知事への送付 (ケ) 確認及び書類の提示又は提出の要求 (コ) 一般旅券の返納の受理 (サ) 返納を受けた一般旅券の還付 イ 旅券法施行規則に基づく事務のうち、次に掲げるもの (ア) 申請者が出頭しない場合の申請の申出の受理及び知事への送付 (イ) 確認並びに書類及び資料の提示又は提出の要求 (2) 事務の移譲先 ○日野町、日南町及び江府町(3町)</p> <p>3 施行期日 施行期日は、平成22年4月1日とする。</p> <p>【参考】旅券事務における国と地方の役割分担</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">事務内容</th> <th style="width: 20%;">従来</th> <th style="width: 30%;">権限移譲後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>一般旅券申請書の受理 (戸籍等必要書類提出、身元確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)以外が該当</td> <td style="text-align: center;">県</td> <td style="text-align: center;">町 (申請を受け付け県に送付する経由事務)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>旅券申請データの外務省への送信</td> <td></td> <td style="text-align: center;">県</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>申請データの受信</td> <td style="text-align: center;">外務省</td> <td style="text-align: center;">外務省</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>旅券発給可否の審査、発給の決定</td> <td style="text-align: center;">外務省</td> <td style="text-align: center;">外務省</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>旅券の作成</td> <td></td> <td style="text-align: center;">県</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>審査(申請書、関係書類の審査)</td> <td style="text-align: center;">県</td> <td style="text-align: center;">県</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>交付(手数料徴収、本人確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)が該当</td> <td></td> <td style="text-align: center;">町</td> </tr> </tbody> </table>			事務内容	従来	権限移譲後	1	一般旅券申請書の受理 (戸籍等必要書類提出、身元確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)以外が該当	県	町 (申請を受け付け県に送付する経由事務)	2	旅券申請データの外務省への送信		県	3	申請データの受信	外務省	外務省	4	旅券発給可否の審査、発給の決定	外務省	外務省	5	旅券の作成		県	6	審査(申請書、関係書類の審査)	県	県	7	交付(手数料徴収、本人確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)が該当		町
	事務内容	従来	権限移譲後																															
1	一般旅券申請書の受理 (戸籍等必要書類提出、身元確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)以外が該当	県	町 (申請を受け付け県に送付する経由事務)																															
2	旅券申請データの外務省への送信		県																															
3	申請データの受信	外務省	外務省																															
4	旅券発給可否の審査、発給の決定	外務省	外務省																															
5	旅券の作成		県																															
6	審査(申請書、関係書類の審査)	県	県																															
7	交付(手数料徴収、本人確認等) ※上記の2(1)に掲げる事務のうちア(オ)及び(サ)が該当		町																															

条 例 名 等	工事請負契約（とりぎん文化会館舞台機構設備改修整備業務）の締結について
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由 次のとおり工事請負契約を締結することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項の規定により、本議会の議決を求める。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 工 事 名 とりぎん文化会館舞台機構設備改修整備業務</p> <p>(2) 工 事 場 所 鳥取市尚徳町101番地5</p> <p>(3) 契約の相手方 三精輸送機・佐藤総合計画グループ</p> <p style="padding-left: 40px;">代表企業 大阪府吹田市江坂町一丁目13番18号 三精輸送機株式会社 代表取締役 三 和 正 明</p> <p style="padding-left: 40px;">設計企業 東京都墨田区横網二丁目10番12号 株式会社佐藤総合計画 代表取締役 細 田 雅 春</p> <p style="padding-left: 40px;">建設企業 大阪府吹田市江坂町一丁目13番18号 三精輸送機株式会社 代表取締役 三 和 正 明</p> <p>(4) 契約金額 619,851,750円</p> <p>(5) 工事費の減による減額 工期内において、契約金額が適正な工事費より過大となったと認められる場合は、上記契約金額から当該過大となった額を減額するものとする。</p> <p>(6) 工事完成期限 平成24年2月29日</p> <p>(7) 契約締結の方法 一般競争入札</p>

